

## 純正設置・取扱説明書

ÖWAMAT®

>10

>11

## ■ 目次

1. 本書についての注意事項.....	4
1.1 ご連絡先 .....	4
1.2 設置・取扱説明書に関する情報.....	4
1.3 関連ドキュメント .....	5
2. 安全性.....	6
2.1 使用 .....	6
2.1.1 意図された使用 .....	6
2.1.2 予見可能な誤用 .....	7
2.2 運用者の責任.....	7
2.3 対象グループと人員.....	8
2.4 使用される記号の説明 .....	9
2.5 安全に関する注意事項および警告マーク .....	10
2.5.1 基本的な安全上の注意事項 .....	10
2.5.2 安全な運転.....	10
2.5.3 加圧された液体の急速な流出.....	11
2.5.4 輸送と保管.....	11
2.5.5 設置 .....	12
2.5.6 保守 .....	12
2.5.7 有害物質の取扱い.....	13
2.5.8 スペアパーツ、アクセサリまたは素材の使用.....	13
2.6 警告マーク .....	14
3. 製品情報 .....	16
3.1 製品概要 .....	16
3.1.1 ÖWAMAT® 10.....	16
3.1.2 ÖWAMAT® 11.....	18
3.2 機能説明 .....	20
3.2.1 ÖWAMAT® 10 / 11.....	20
3.3 納入内容 .....	21
4. 技術データ .....	22
4.1 稼働パラメータ .....	22
4.2 保管パラメータ .....	22
4.3 材質 .....	22
4.4 寸法 .....	23
4.4.1 ÖWAMAT® 10.....	23
4.4.2 ÖWAMAT® 11.....	24
4.5 接続.....	25
4.6 設置条件 .....	26
5. 輸送と保管 .....	27
5.1 警告マーク .....	27
5.2 輸送 .....	28
5.3 保管 .....	28


6. 取り付け .....	29
6.1 警告マーク .....	29
6.2 取り付け作業.....	30
6.2.1 ÖWAMAT® 10.....	31
6.2.2 ÖWAMAT® 11.....	33
6.2.3 ÖWAMAT®の接続.....	36
7. 試運転.....	37
7.1 警告マーク .....	37
7.2 試運転作業.....	37
8. 運転.....	40
9. 保守.....	41
9.1 警告マーク .....	41
9.2 保守スケジュール.....	41
9.3 メンテナンス作業.....	42
9.3.1 浄化済みドレンの濁度点検.....	42
9.3.2 フィルター交換および清掃.....	43
9.3.3 目視検査.....	46
9.3.4 リークテスト.....	46
9.3.5 仕上げ作業.....	46
10. 消耗品、アクセサリおよび交換部品.....	47
10.1 注文情報.....	47
10.2 消耗部品.....	47
10.3 アクセサリ.....	47
10.4 交換部品.....	48
11. 運転停止措置.....	49
11.1 警告マーク.....	49
11.2 運転停止措置のための作業.....	49
12. 取り外し.....	50
12.1 警告マーク.....	50
12.2 取り外し作業.....	50
12.2.1 OEKOSORB® フィルターエレメントの取り外し.....	51
12.2.2 ÖWAMAT® 接続の取り外し.....	53
12.2.3 ÖWAMAT® 10の取り外し.....	54
12.2.4 ÖWAMAT® 11の取り外し.....	56
13. 廃棄処分.....	58
13.1 警告マーク.....	58
13.2 運転資材および補助資材の廃棄処分.....	58
13.3 コンポーネントの廃棄処分.....	58

# 1. 本書についての注意事項


本書では、製品およびアクセサリの使用に必要な全ての手順が説明されています。

## 1.1 ご連絡先

メーカー	サービスおよびツール担当
BEKO TECHNOLOGIES GmbH  Im Taubental 7   41468 Neuss 電話: + 49 2131 988 - 1000 info@beko-technologies.com www.beko-technologies.com	BEKO TECHNOLOGIES GmbH  Im Taubental 7   41468 Neuss 電話: + 49 2131 988 - 1000 service-eu@beko-technologies.com www.beko-technologies.com


情報	国別メーカーの代理店
	国別メーカーの代理店連絡先は裏面にある住所表示をご参照いただくかメーカーのウェブサイトにあるフォームから作成することができます。

## 1.2 設置・取扱説明書に関する情報

情報	著作権が保護されています!
	テキスト、画像、写真、図面、回路図、その他の表現方法による設置・取扱説明書の内容は、メーカーの著作権として保護されています。この文書の譲渡ならびに複製、その内容の使用および伝達は、明示的に許可されている場合を除き、禁止されています。

公開日	改訂	バージョン	変更理由	変更の範囲
2023年11月21日	00	00	編集上の変更	新規作成

設置・取扱説明書(以下、説明書)は、常に製品の近くにいつでも参照できる状態で保管してください。製品を売却または譲渡する際は説明書も共に渡す必要があります。

注記	説明書の内容に留意してください!
	この説明書は製品を安全に運転するための基本情報が網羅しており、如何なる操作を行う場合でも事前に通読しておく必要があります。本書を読まずに使用した場合、人的および物的損害、ならびに機能故障および運転トラブルの危険が生じるおそれがあります。

### 1.3 関連ドキュメント

この説明書では **ÖWAMAT®** の設置および使用に必要な全ての手順について説明します。  
アクセサリの設置および使用に関する詳細情報は、次の設置・取扱説明書に記載されています：

- 説明書 フィルター交換
- 設置・取扱説明書 ヒーター (**ÖWAMAT® 11**)

## 2. 安全性

### 2.1 使用

#### 2.1.1 意図された使用

ÖWAMAT® (以下、「製品」とも表記)は、オイル潤滑式およびオイルフリー式のコンプレッサーから発生したコンプレッサードレンを処理するために使用されます。汚れおよび直接分離可能なオイルは、物理的なプロセスによって水から分離されます。

この説明書に記載されていない使用方法は不適切と見なされ、人や環境の安全性を危険にさらす可能性があります。

適切に使用するには以下の点に注意してください：

- 説明書をお読みになり、よく従ってください。
- 製品およびアクセサリは、技術データの章内に記載されている運転パラメータおよび合意された納入条件の範囲内でのみご使用ください。
- 製品とアクセサリは、苛性、侵食性、腐食性、毒性、可燃性、酸化性または無機性の成分を含まない媒体でのみご使用ください。  
疑わしい場合は分析を行ってください。
- 製品とアクセサリは、毒性および腐食性の化学物質やガスのない領域でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、適切な接続、パイプ径および取り付けスペースを備え、技術データの章内に記載されている稼働パラメータ用に設計された配管システムの範囲内でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、機械的負荷および撥水の影響範囲外でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、爆発の危険性がある領域の外側でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、直射日光や熱源の影響範囲外でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、説明書に記載されており推奨されている、メーカーの製品およびコンポーネントとのみ併用してください。
- 所定のメンテナンススケジュールをお守りください。

運用者は製品とアクセサリを使用する前に、適切に使用するための全ての条件と前提条件を満たすよう調節を行ってください。

製品とアクセサリは商工業区画での定置運用でのみご使用ください。記載されている全ての取り付け、設置、運転、保守、取り外しおよび廃棄の作業は、有資格の専門スタッフのみが実施可能です。

## 2.1.2 予見可能な誤用

製品またはアクセサリが「使用目的」の章に記載のものとは異なる方法で使用される場合は、予見可能な誤用とみなされます。予見可能な誤用には、メーカーまたはサプライヤーが意図していない方法での製品またはアクセサリの使用が含まれますが、それが予見可能な人員の行為に起因する可能性もあります。

予見可能な誤用には、以下のケースが含まれます：

- あらゆる種類の改造、特に構造およびプロセス技術関連の変更
- 既存のまたは推奨される安全設備の無効化または不使用。
- コンプレッサードレン以外の廃水（例：産業排水）を濾過するための使用。
- 廃油の廃棄。

すべての誤用の可能性をあらかじめ予測することは不可能であり、このリストはすべてを網羅するものではありません。運用者がここに記載されていない製品やアクセサリの誤用を認識している場合は、メーカーに直ちに通知する必要があります。


## 2.2 運用者の責任

事故、障害、および環境への悪影響を避けるために、責任を負う運用者は、以下の点について確認する必要があります：

- 操作を行う前には必ず、当説明書が製品に属するものかどうかを確認してください。
- 製品とアクセサリが意図したとおりに使用、保守、および整備されている。
- 製品とアクセサリが推奨されている機能性の良い安全装置とのみ併用されている。
- 全ての取り付け作業、設置作業および保守作業は、有資格の専門スタッフのみが行っている。
- 作業員に必要な個人用保護具が提供され、使用されている。
- 許容される運転パラメータは適切な技術的安全措置により維持されている。
- 製品およびアクセサリに貼付されている全ての安全標識と銘板が、判読できる状態に保たれている。損傷した標識や判読しにくい標識は直ちに交換してください。
- 水域を保護するために、およびこれに関連する文書化義務（例：濁度点検の結果、保存期間など）のためにその地域で適用される全ての法的規制および規定が遵守されている。

## 2.3 対象グループと人員

この説明書は、製品またはアクセサリで作業を行う以下の人員を対象としています。

情報	作業者に対する要件!
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品またはアクセサリで作業を行うことができるのは、成人年齢に達した人員のみです。</li> <li>• 人員が薬物、医薬品、アルコールまたはその他の意識に悪影響を及ぼす物質の影響下にある場合には、その人員は製品またはアクセサリで作業を行うことができません。</li> </ul>

### オペレータ

オペレータとは、説明書内容の知識や製品およびアクセサリについての指示を基に、製品およびアクセサリを安全に操作できる人員のことで、オペレータは起こり得る障害や危険な状況を自身で認識し、適切な措置の指示を出すことができます。

### 輸送・保管専門スタッフ

輸送・保管専門スタッフとは、訓練を受け、専門的経験と資格によって必要な技能を持ち、製品の輸送と保管に関連するすべての措置を安全に実施または指示し、危険な状況を自ら認識し、安全対策を講ずることができる人員のことで、

この技能には、ホイスト、フォークリフト、リフティングツールおよびリフティング機器の取り扱い経験、ならびに輸送、保管に関して地域で適用される法律、基準およびガイドラインについての知識が特に含まれます。

### 圧力機器・設備専門スタッフ

圧力機器・設備専門スタッフとは、訓練を受け、専門的な経験と資格によって、加圧された液体およびシステムに関連する全ての行為を安全に実行し、それらの行為を指示し、発生しうる危険な状況を自ら認識し、危険回避の措置を実行するために必要な全ての技能を有する人員のことで、

こうした技能には、計測技術、制御技術および規制技術の取り扱い経験、ならびに加圧されたシステムに関して地域で適用される法律、規格およびガイドラインの知識が特に含まれます。

### サービス専門スタッフ

サービス専門スタッフとは、前記のような全ての専門スタッフの定義に記載された技能および資格を有する人員のことで、サービス専門スタッフは、製品に関するすべての作業について訓練を受け、認可を受けたことを証明できなければなりません。

## 2.4 使用される記号の説明

以下の記号は製品を取り扱う際、安全かつ最適な操作を保証するために守る必要のある安全に関する重要な情報を示しています。

記号	説明/解説
	一般的な危険記号 (危険、警告、注意)
	加圧システム
	設置・取扱説明書を読み、遵守してください
	一般的な義務マーク
	安全靴を着用
	保護手袋(耐切断性および耐液体性)を着用
	側面保護付きの保護めがね(ゴーグル)を着用
	一般情報

## 2.5 安全に関する注意事項および警告マーク

この章では、人員の保護、ならびに製品とアクセサリの安全で障害のない運転のための全ての重要な安全面に関する概略を説明します。

これに続く章では、本製品とアクセサリを使用目的に沿って使用した場合であっても発生する危険について記載されています。人身傷害および物的損害の危険を最小限に抑え、危険な状況を回避するためには、記載されている安全上の注意事項を守り、本説明書の他の章に記載の警告マークを遵守してください。

基本的な安全上に関する注意事項および専門スタッフに必要な資格は、各章冒頭の「警告マーク」の項に記載されています。

操作ステップ別の警告マークは、潜在的に危険な操作ステップまたは操作シーケンスの直前に表示されています。

### 2.5.1 基本的な安全上の注意事項

- 作業の開始前にはシステム全体の技術文書を参照し、全ての取扱説明書に従ってください。
- 作業の開始前には、現場でリスク評価を実施してください (Last Minute Risk Assessment)。
- 作業時には必ず適切な個人用保護具を使用してください。
- 設置作業、保守作業および修理作業の際は、必ず作業場所の周囲に安全領域を設けてください。
- 確実にスイッチをオフにして、システムまたはシステムセグメントを隔離するためには、既存の工場固有の安全保護手順 (例: ロックアウト-タグアウト-手順) を使用してください。

### 2.5.2 安全な運転

次のような操作をすると、人員が死亡するか、または重傷を負う原因になるおそれがあります:

- 製品とアクセサリの許容限度および運転パラメータを超えた試運転および運転
- 製品とアクセサリに対する許可のない介入および許可のない改造

製品とアクセサリの安全な運転を保障するためには、以下の点を守ってください:

- 銘板と説明書に記載の限界値と運転パラメータを守ってください。
- 許容された運転パラメータがアクセサリの使用によって変更または制限されていないかどうか、確認してください。
- 設置条件および周囲条件を遵守してください。
- 保守間隔を遵守してください。

### 2.5.3 加圧された液体の急速な流出

次のような状況は、人員が死亡するか、または重傷を負う原因になるおそれがあります：

- 急速または急激に流出する液体との接触
- 設備部品の破裂
- 加圧されたホースケーブルや配管の鞭打ち動作

加圧システムを安全に取り扱うためには、以下の点を守ってください：

- 作業時には必ず以下の安全規則に従ってください：
  1. システムまたはシステムセグメントのスイッチをオフにします。
  2. システムまたはシステムセグメントのスイッチが再びオンにならないように固定してください。
  3. システムまたは全てのシステムセグメント内の圧力を周囲圧力まで下げてください。  
たとえば、逃し弁によって、制御された方法でゆっくりと圧力を解放してください
  4. システムまたはシステムセグメントが再び加圧されないように固定してください。
- システムまたはシステムセグメントの安全性、汚染および損傷の有無を点検してください。
- 加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。
- システムまたはシステムセグメントはゆっくりと加圧してください。
- 圧力ショックと高差圧は避けてください。
- 配管網内で発生する振動を振動ダンパーで補償します。

### 2.5.4 輸送と保管

不適切な輸送または保管は、人身傷害または物的損害の原因になるおそれがあります。

製品およびアクセサリを安全に輸送し安全に保管するためには、以下の点を守ってください：

- 梱包資材を扱う作業をする際は必ず個人用保護具を使用してください。
- 梱包材、製品およびアクセサリは慎重に取り扱ってください。
- 製品とアクセサリは、包装に記載された標識に従って輸送し、取り扱いってください。
- 欠陥のない適切な輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。
- 製品の総重量用に設計された輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。
- 許容された輸送パラメータおよび保管温度を守ってください。
- 製品とアクセサリは必ず直射日光や熱源による影響のない場所に保管してください。
- 組み立てた製品は、空っぽの状態でのみ輸送してください。

## 2.5.5 設置

製品およびアクセサリの不適切な取り付けまたは電氣的設置は、人身傷害および物的損害の原因になるおそれがあり、運転中に障害の原因となるおそれもあります。

安全な取り付けおよび電氣的設置を行うためには、以下の点を守ってください：

- 製品、アクセサリ、使用される全ての部品および材料は、機械的張力がかからないように取り付けてください。
- 全てのプラグ接続が正しいことを確認してください。
- 適切なケーブル配線およびホース配線によって、つまり危険がないようにしてください。
- 全てのホースは締めて固定し、叩き付けられるような動きが発生しないようにしてください。
- 供給管と排出管をしっかり接続してください。

## 2.5.6 保守

保守作業および修理作業を不適切な方法で実施すると、人員が重傷を負うか、または死亡する原因になるおそれがあります。

安全な保守および修理のためには、以下の点を守ってください：

- 作業開始の前には、加圧した製品とアクセサリの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。
- 作業開始の前には、製品とアクセサリの電源スイッチを切り、不意に再びスイッチがオンにならないように固定してください。
- 各用途について承認された材料のみを使用してください。
- 欠陥のない状態にある適切なツールのみを使用してください。
- 汚れや腐食のない洗浄済みの配管およびホースのみを使用してください。
- 外側のコーティング（例：標識、銘板、腐食防止層など）を損傷するおそれのある、研磨剤の入った侵食性の洗浄剤または溶剤は使用しないでください。
- 先のとがった物、または硬い物を清掃に使用しないでください。
- 清掃には、指定された素材および媒体のみを使用してください。
- 法的な衛生規則、地域の衛生規則、および社内で適用される衛生規則に従ってください。
- 保守作業および修理作業の際には、整理整頓と清潔状態を保つよう留意してください。開かれた製品またはアクセサリに汚れが入らないようにしてください。取り外したコンポーネントおよびアクセサリは、直ちに安全な場所で保管してください。
- 保守作業および修理作業の終了後には、全ての使用ツール、洗浄剤、および不要になった部品を作業場所から除去してください。
- 製品とアクセサリは、清掃が済み、残留媒体がない状態になった場合にのみ廃棄してください。
- 全ての部材、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄媒体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って適切に廃棄してください。

## 2.5.7 有害物質の取扱い

ドレンに含まれている健康や環境に有害な物質は、皮膚、目および粘膜に触れた場合にはこれらを刺激し、損傷を与えるおそれがあります。また、有害物質で汚染されたドレンは、下水道や水域または地表に排出しないでください。

有害物質で汚染されたドレンを安全に取り扱うためには、以下の点を守ってください：

- ドレンを取り扱う際には、適切な保護具を使用してください。
- 漏れたりこぼれたりしたドレンは、その地域で適用される法的規制および規定に従って回収し、処理してください。

## 2.5.8 スペアパーツ、アクセサリまたは素材の使用

不適切なスペアパーツ、アクセサリまたは材料、ならびに補助資材および運転資材を使用すると、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。機能障害および運転障害、ならびに物的損害が発生するおそれがあります。


- 全ての作業時には、メーカーが指定した損傷していない純正部品、補助資材および運転資材のみを使用してください。
- 各用途について承認された材料、および欠陥のない状態にある適切なツールのみを使用してください。
- 汚れや腐食のない洗浄済みのパイプのみを使用してください。
- 電気的安全性に関して、その地域で適用される法的規制および規定（規格、指令など）に準拠した電気コンポーネントおよび材料のみを使用してください。

## 2.6 警告マーク

警告マークは、製品とアクセサリの取り扱いにおける危険を警告します。

事故、人身傷害および物的損害、ならびに運転中の障害を避けるために、警告マークを必ず遵守してください。

構造設計:

シグナルワード	危険の種類と原因!
 記号	危険を無視した場合に起こり得る結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険から逃れるための措置</li> </ul>

シグナルワード:

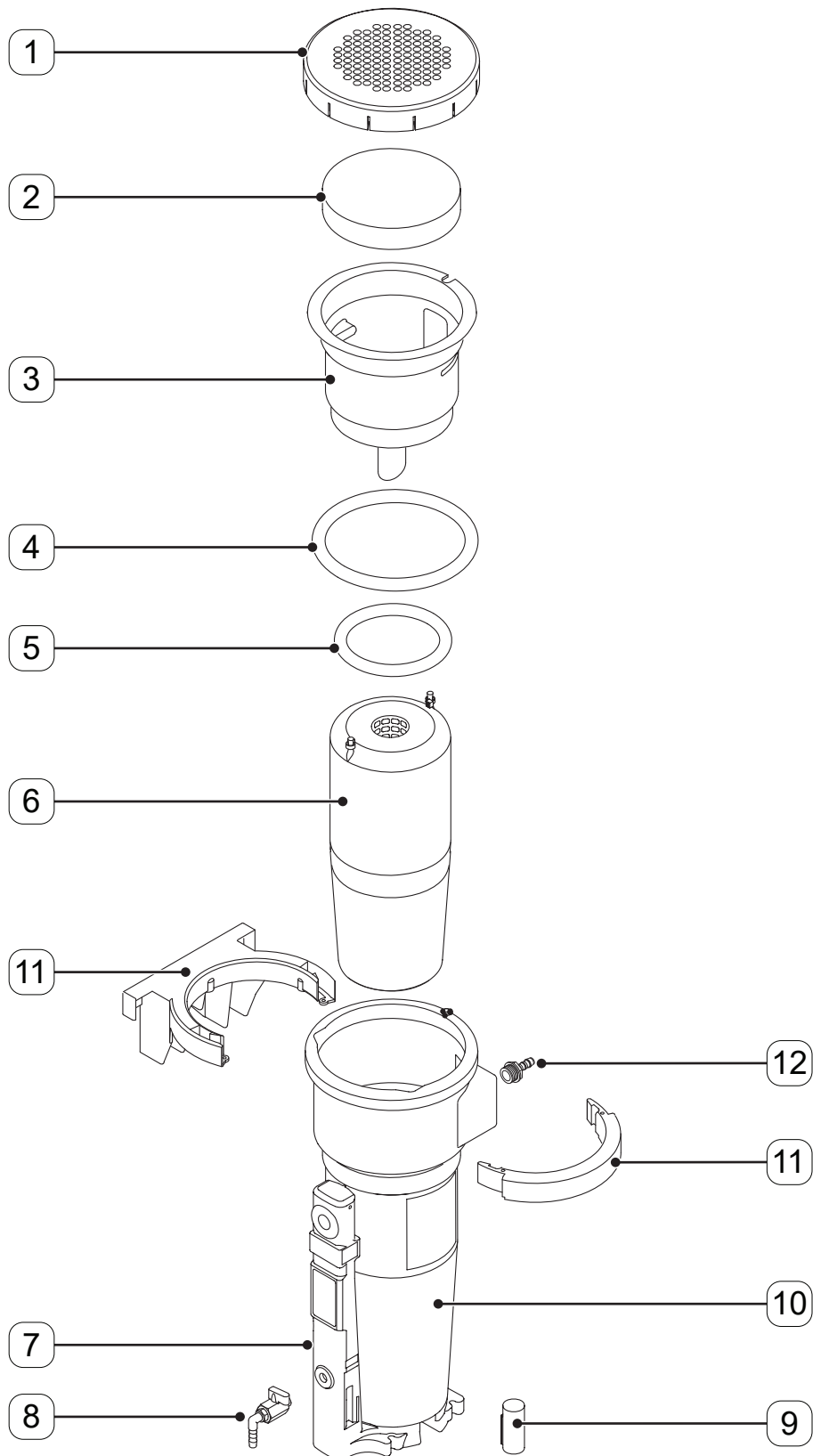
<b>危険</b>	<b>差し迫った危険</b> 注意を怠った場合の帰結: 死亡または重傷
<b>警告</b>	<b>差し迫った危険</b> 注意を怠った場合の帰結: 死亡または重傷につながるおそれがあります
<b>注意</b>	<b>潜在的な危険</b> 注意を怠った場合の帰結: 人身傷害または物的損害のおそれがあります
<b>注記</b>	<b>追加の注記</b> 注意を怠った場合の帰結: 物的損害および運転上の不利益が生じるおそれがあります。人員や安全な運転を危険に晒さないこと。



### 3. 製品情報

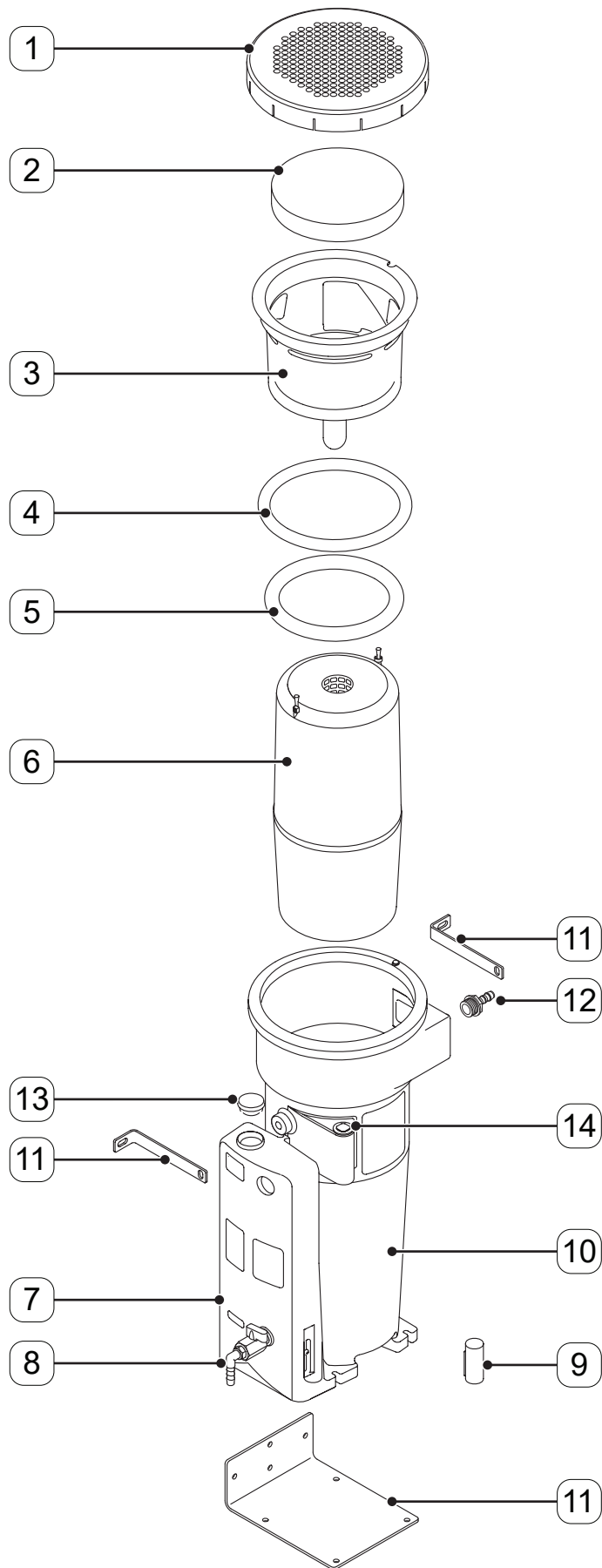
#### 3.1 製品概要

##### 3.1.1 ÖWAMAT® 10



アイテム - 番号	説明/解説
[1]	カバー
[2]	フィルターマット
[3]	インレットパイプ付き圧力開放チャンバー
[4]	シールリング
[5]	シールリング
[6]	<b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント
[7]	立ち上がりダクト
[8]	サービス弁
[9]	基準濁度チューブ
[10]	容器
[11]	ウォールブラケット
[12]	ホースコネクタ(ドレンフィード)

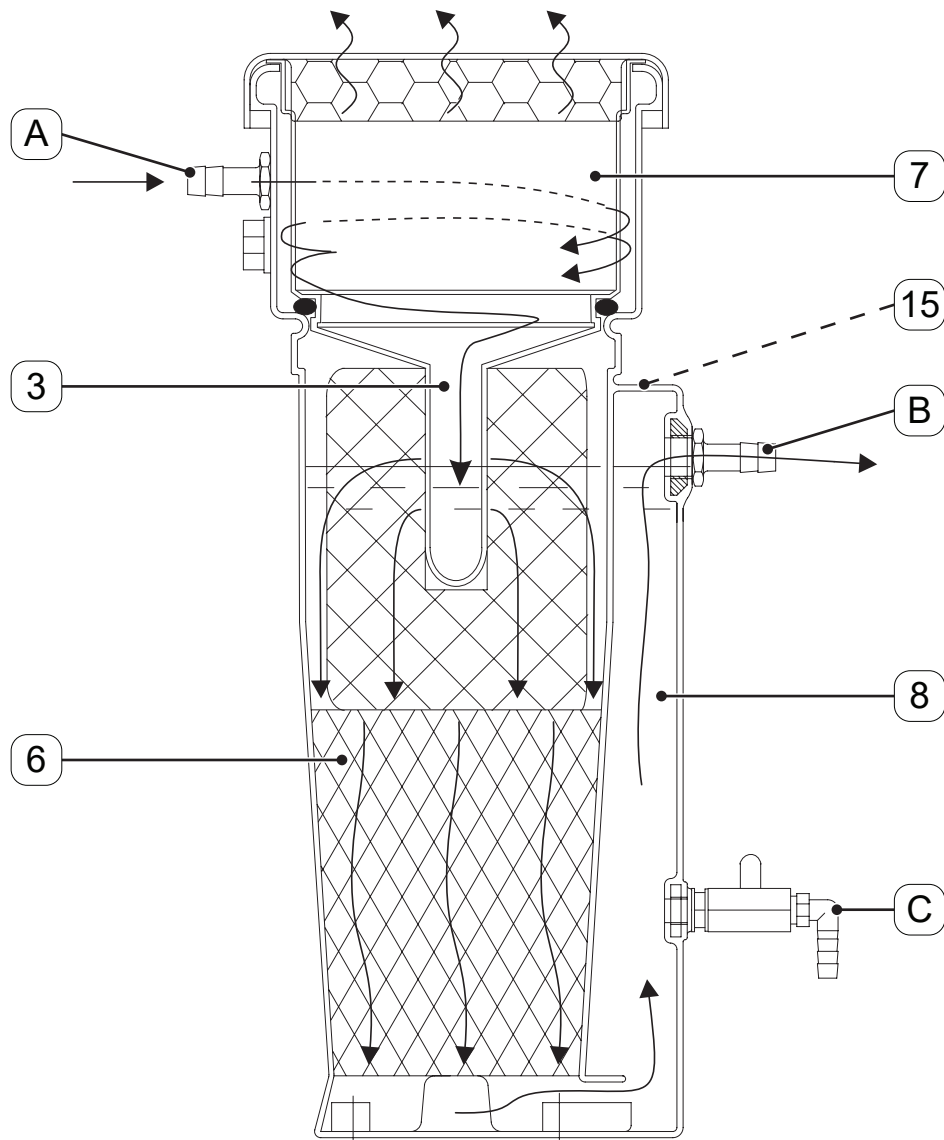
### 3.1.2 ÖWAMAT® 11



アイテム - 番号	説明/解説
[1]	カバー
[2]	フィルターマット
[3]	インレットパイプ付き圧力開放チャンバー
[4]	シールリング
[5]	シールリング
[6]	<b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント
[7]	立ち上がりダクト
[8]	サービス弁
[9]	基準濁度チューブ
[10]	容器
[11]	ウォールブラケット
[12]	ホースコネクタ(ドレンフィード)
[13]	栓
[14]	レベル標識

### 3.2 機能説明

#### 3.2.1 ÖWAMAT® 10 / 11



アイテム - 番号	説明/解説	アイテム - 番号	説明/解説
[A]	ドレン入口	[6]	OEKOSORB® フィルターエレメント
[B]	ドレン排出口	[7]	圧力開放チャンバー
[C]	サービス弁	[8]	立ち上がりダクト
[3]	インレットパイプ	[15]	レベル標識 (ÖWAMAT® 11)、( 図示されていない)

ドレンは、ドレンコレクタパイプからドレン入口 [A] を経由して圧力開放チャンバー [7] 内に導かれます。圧力開放チャンバー [7] 内で、巻き込まれた圧縮空気が分離されます。ドレンは、インレットパイプ [3] を通り **OEKOSORB®** フィルターエレメント [6] 内に流れ込みます。

**OEKOSORB®** フィルターエレメント [6] はプレフィルターとメインフィルターとで構成され、残留油分を回収します。

ドレンは、**OEKOSORB®** フィルターエレメント [6] を通り立ち上がりダクト [8] 内に流れ込みます。

浄化済みのドレンは、立ち上がりダクト [8] およびドレン排出口 [B] を経て廃水接続部に導かれます。

**OEKOSORB®** フィルターエレメント [6] がオイルで飽和に達した場合はフィルターを交換する必要があります（「9.3.2 フィルター交換および清掃」43ページの章を参照）。

**ÖWAMAT® 11** 圧力開放チャンバー [7] 内にはレベル標識 [15] が取り付けられています。ドレンの流れに障害が発生して、圧力開放チャンバー [7] 内の充填レベルが上昇すると、レベル標識 [15] が押し上げられて、レベル標識 [15] の赤色のマーキングが見えるようになります。

サービス弁 [C] でいつでも廃水の水質を調べることができます。

### 3.3 納入内容

下表に **ÖWAMAT®** の納入範囲を示します：

図	説明/解説
	<p style="text-align: center;"><b>ÖWAMAT® 10/11</b> (ウォールブラケット、固定材料付き)</p>
	<p style="text-align: center;">純正設置・取扱説明書</p>

## 4. 技術データ

### 4.1 稼働パラメータ

パラメータ	ÖWAMAT®	
	10	11
周囲空気の相対湿度	≤10 ... 80 %、結露なし	
ドレン入口での最大作動圧	16 bar (相対) 232 psi (ゲージ)	
最低 / 最高周囲温度	+5 ... +60 °C +41 ... +140 °F	
最低 / 最高媒体温度	+5 ... +60 °C +41 ... +140 °F	
最大ドレン流量	2.95 リットル/h 0.779 gal/h	6 リットル/h 1.585 gal/h
媒体	コンプレッサードレン、オイル含有	
最大運転重量	13.5 kg 29.76 lbs	24.35 kg 53.68 lbs
ドレン排出口での最大油濃度	20 mg/l 20 ppm	

### 4.2 保管パラメータ

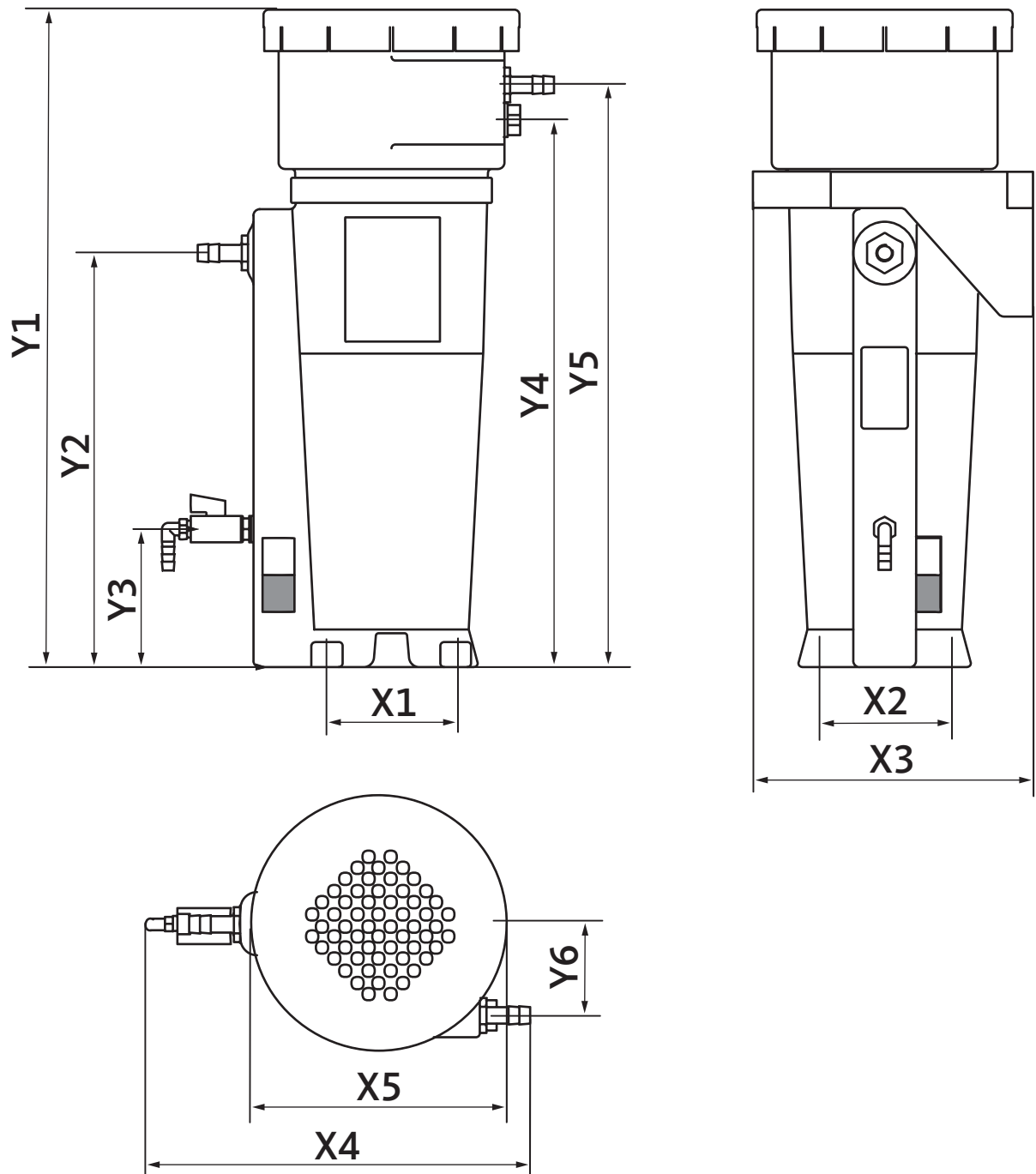
パラメータ	ÖWAMAT®	
	10	11
最低 / 最高温度	+5 °C ... +60 °C (+33.8 °F ... +140 °F)	
周囲空気の相対湿度	≤10 ... 80 %、結露なし	
自重	3.5 kg 7.72 lbs	5.75 kg 12.68 lbs

### 4.3 材質

構成部分	材料
容器、カバー、プレセパレーター、プレセパレーターベース	PE
接続アダプター	POM
ボールバルブ	ニッケルメッキ真鍮
オイルパイプ	PP

## 4.4 寸法

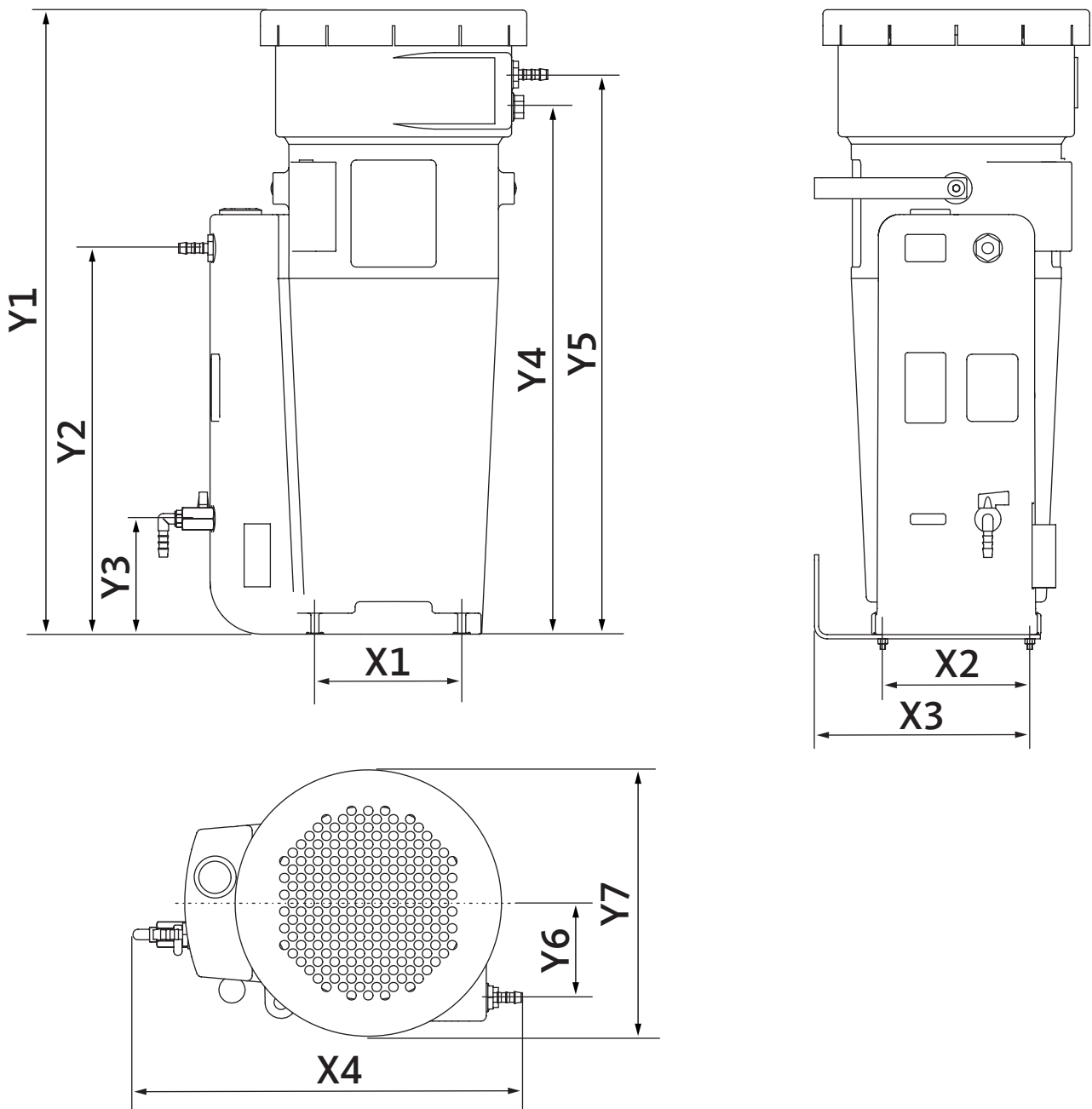
### 4.4.1 ÖWAMAT® 10



アイテム - 番号	[mm]	[in]
[X1]	100	3937
[X2]	100	3937
[X3]	222	8.74
[X4]	290	11417
[X5]	200	7874
[Y1]	528	20787

アイテム - 番号	[mm]	[in]
[Y2]	330	12992
[Y3]	110	4331
[Y4]	433	17047
[Y5]	464	41.93
[Y6]	70	18268

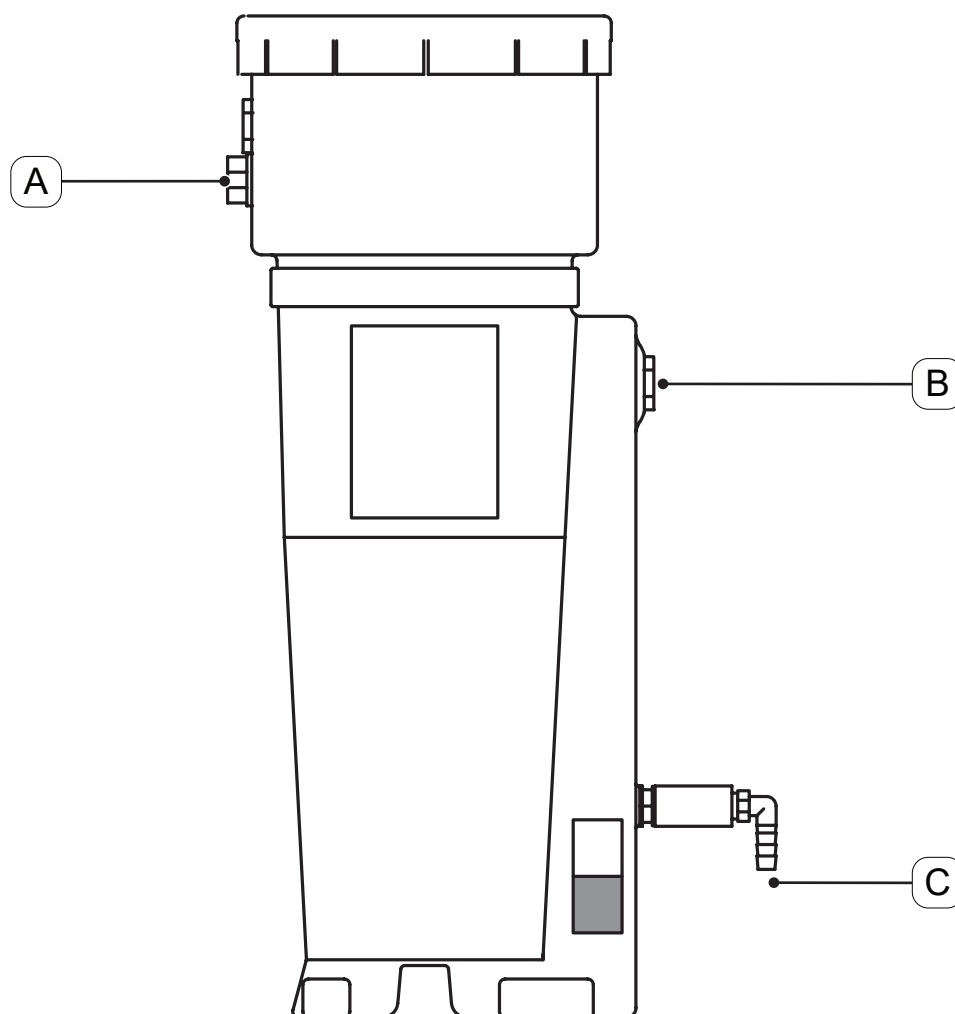
### 4.4.2 ÖWAMAT® 11



アイテム - 番号	[mm]	[in]
[X1]	140	5512
[X2]	140	5512
[X3]	205	8071
[X4]	387	15236
[Y1]	604	23.78
[Y2]	368	14488

アイテム - 番号	[mm]	[in]
[Y3]	110	4331
[Y4]	503	19803
[Y5]	534	21024
[Y6]	90	3543
[Y7]	254	10

## 4.5 接続

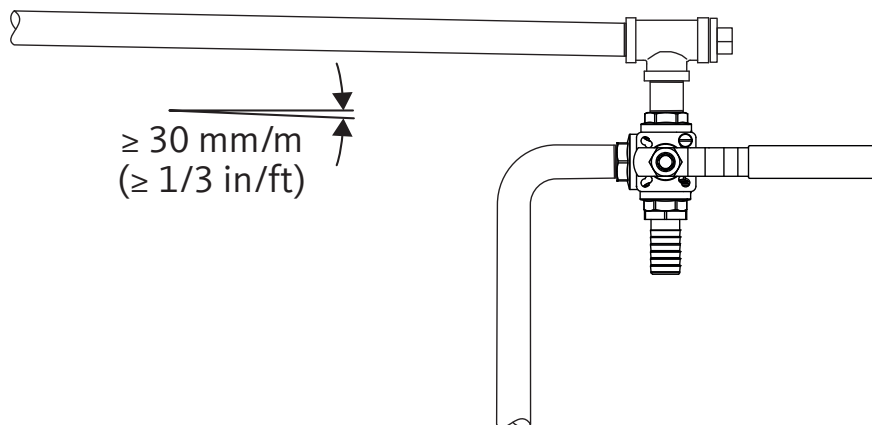


アイテム - 番号	接続	数	説明/解説
[A]	G1/2" (di = 10 mm)	2	ホースノズル、ドレン入口用の接続部
[B]	G1/2" (di = 10 mm)	1	ホースコネクタ、浄化済みドレン排出用の接続部
[C]	12 mm (0.47 in)	1	アングルスリーブ付きサービス弁

## 4.6 設置条件

据付場所の設定および選択については、以下の条件を遵守してください：




- 据付場所が以下の条件を満たしていること：
  - 機械的負荷に対する保護
  - 撥水に対する保護
  - 直射日光および熱源の影響範囲に対する保護
  - 霜に対する保護
  - 爆発の危険性がある領域外であること
- 設置面が平らであり(勾配 $\leq 10$  mm/m (1/8 in/ft))、滑らかであること。
- 設置面の耐荷重が ÖWAMAT® の最大運転重量に合わせて設計されていること(「4. 技術データ」22 ページの章を参照)。
- 設置面が密閉されているか、または適切なキャッチトレイがあること。
  - 損傷が発生した場合でも未処理のドレンや油が排水システムや土壤に流れ込まないようにしてください。
  - 水域を保護するためにその地域で適用される法的規制および規定が遵守されていること。
- 本製品を交通路の近くに設置する場合は、衝撃保護が取り付けられていること。
- ドレンコレクタパイプの断面がG1" ( $\varnothing = 25$  mm) よりも大きいこと。
- ÖWAMAT® の据付場所まで $\geq 30$  mm/m (1/3 in/ft) の勾配を備えたドレンコレクタパイプを配置すること。
- 不快臭の発生を防ぐために、廃水システムの接続部に漏斗付きサイフォンを取り付けること。サイフォンのサイズは、排水ホースを取り付けた際に排水口に負圧が生じないように選定してください。
- メーカーは、メンテナンス作業時にドレンを別個の容器に流し込むため、ドレンコレクタパイプの抽出点に三方弁を設置することを推奨しています。



例図

## 5. 輸送と保管

### 5.1 警告マーク

<p><b>注意</b></p>	<p><b>不適切な輸送または保管!</b></p>
 	<p>不適切な輸送や保管は、人身傷害の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 梱包資材を扱う作業をする際は必ず個人用保護具を使用してください。</li> <li>• 梱包材、製品およびアクセサリは慎重に取り扱ってください。</li> <li>• 欠陥のない適切な輸送器材およびリフティング装置のみ使用してください。</li> <li>• 許容された輸送パラメータおよび保管温度を守ってください。</li> </ul>
<p><b>注記</b></p>	<p><b>梱包材の取扱い!</b></p>
	<p>梱包材を不適切に廃棄すると、環境に害を与える可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 梱包資材は、使用国で適用される法的規制および規定に従って廃棄してください。</li> </ul>

## 5.2 輸送

### 作業員

輸送・保管専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)

### 輸送作業

- 製品は、必ず純正梱包材を用いて輸送してください。
- 製品に損傷がないか点検してください。製品は、損傷していない状態でのみ使用してください。
- 製品とアクセサリは、包装に記載された標識に従って輸送し、取り扱ってください。
- 全ての部品を適切な素材で衝撃に耐えられるよう梱包してください。



## 5.3 保管

### 保管作業

- 製品およびアクセサリは、必ず損傷していない純正梱包材に入れて保管してください。
- 「4.2 保管パラメータ」の章の保管条件を守ってください。
- 保管場所は、乾いており凍結しない施設可能な場所です。
- 製品とアクセサリは必ず直射日光や熱源による影響のない場所に保管してください。
- 保管場所を転倒や振動から保護します。

## 6. 取り付け

### 6.1 警告マーク

<p><b>危険</b></p>	<p><b>不適切なスペアパーツ、アクセサリまたは材料の使用!</b></p>
	<p>不適切なスペアパーツ、アクセサリまたは材料、ならびに補助資材および運転資材を使用すると、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。機能障害および運転障害、ならびに物的損害が発生するおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての作業時には、メーカーが指定した損傷していない純正部品、補助資材および運転資材のみを使用してください。</li> <li>• 各用途について承認された材料、および欠陥のない状態にある適切なツールのみを使用してください。</li> <li>• 汚れや損傷、および腐食のないパイプのみ使用してください。</li> </ul>
<p><b>危険</b></p>	<p><b>加圧された液体の急速な流出</b></p>
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> <li>• 全ての配管およびホースケーブルを機械的張力のないように取り付けてください。</li> </ul>


## 6.2 取り付け作業

### 作業員

圧力機器・設備専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)

組立作業を行うには以下の前提条件が満たされており、準備作業が完了している必要があります。

### 前提条件

ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>モンキーレンチ</li> <li>ウォーターポンププライヤー</li> <li>水準器</li> <li>穴あけドリル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客先側のドレン接続部をシールするためのシール材(例: PTFEテープ)</li> <li>ホースクランプ</li> <li>ドレン用のホース</li> <li>同梱の固定材料</li> </ul>	<p>常に着用:</p> 

### 準備作業

1.	「4.6 設置条件」26ページの章に記載されている要件に従って据付場所を選択し、設定してください。
2.	客先側のドレン供給管を無圧状態にし、意図せぬ加圧が起きないように保護します。
3.	必要なツールおよび素材を準備してください。
4.	圧力範囲および温度範囲に適した、必要な接続素材を準備してください。
5.	製品に損傷がないか点検してください。製品は、損傷していない状態でのみ使用してください。

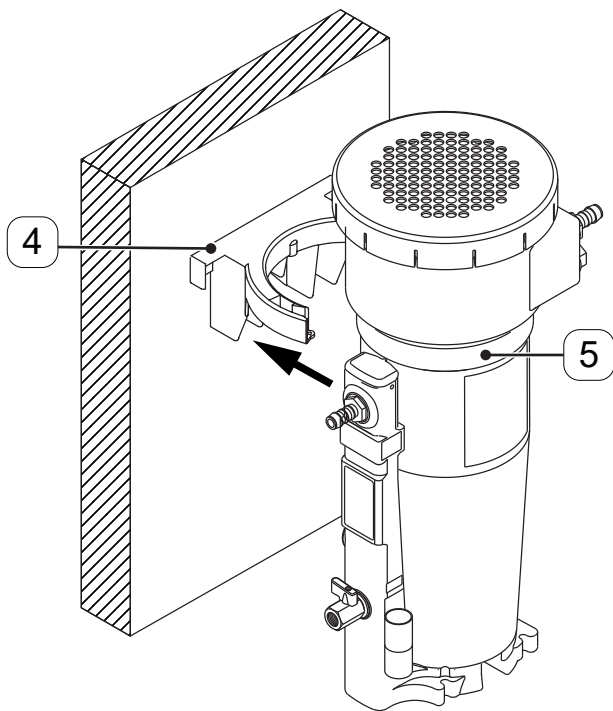
## 6.2.1 ÖWAMAT® 10

取り付け作業	
図	説明/解説
	<p><b>床への取り付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ÖWAMAT® を抽出点に対してオフセットさせて設置してください。</li> <li>2. 固定脚部の4つのスロット穴の位置 [1] を設置面にマーキングしてください。</li> <li>3. ÖWAMAT® をどけて、マーキング部位に穴をあけてください。</li> <li>4. ÖWAMAT® を穴の上に置き、位置を調整してください。 → 最大傾斜角 <math>\pm 1^\circ</math></li> <li>5. ÖWAMAT® を同梱の固定材料で設置面にねじ止めしてください。 → ねじを手で締め付けてください。</li> <li>6. ホースコネクタ [2] を ÖWAMAT® にねじり固定してください。</li> <li>7. アングルスリーブ [3] を ÖWAMAT® にねじり固定してください。</li> </ol>
	<p><b>壁への取付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウォールブラケット [4] を壁の抽出点にオフセットして配置してください。</li> <li>2. ウォールブラケット [4] の穴を壁にマーキングし、ウォールブラケット [4] をどけてください。</li> <li>3. マーキング部位に穴をあけ、ウォールブラケット [4] を同梱の固定材料で取り付けてください。</li> <li>4. ウォールブラケットの位置を調整し (<math>\pm 1^\circ</math>)、ねじで固く締めつけてください。</li> </ol>

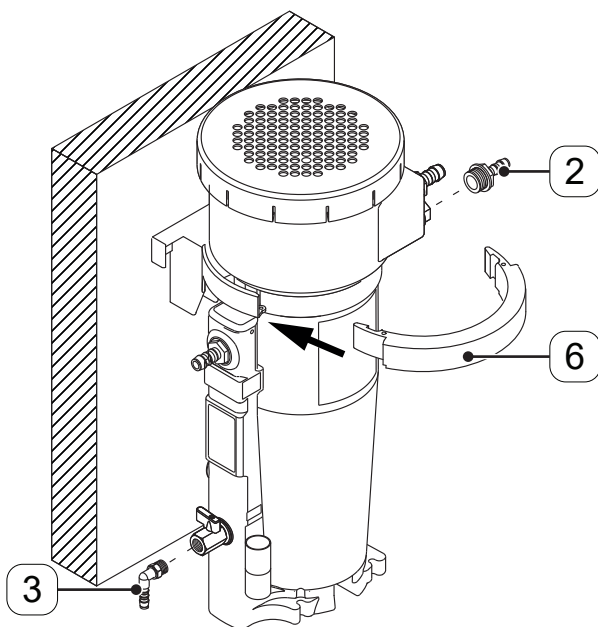
取り付け作業

図

説明/解説

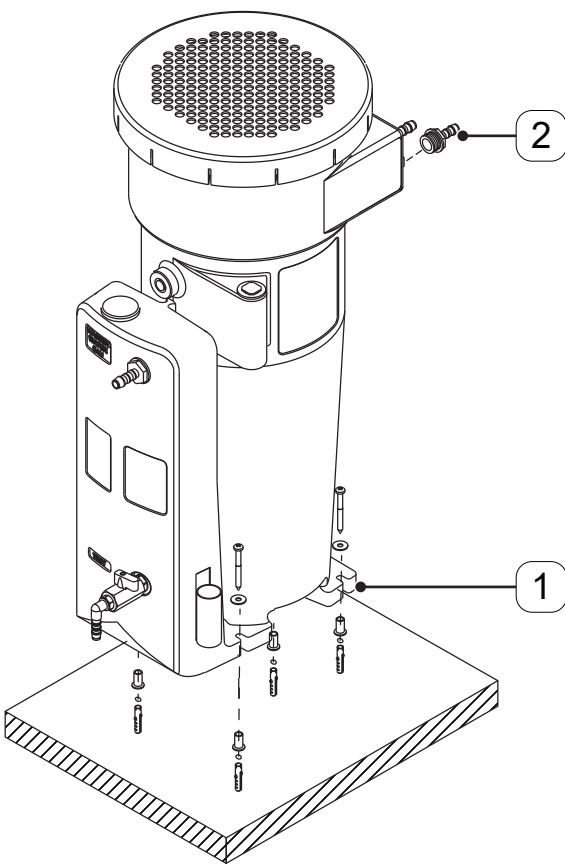


5. ÖWAMAT® の取り付け部 [5] をウォールブラケット [4] で挟んでください。



6. 留め金 [6] をかけてください。
7. ホースコネクタ [2] を ÖWAMAT® にねじり固定してください。
8. アングルスリーブ [3] を ÖWAMAT® にねじり固定してください。

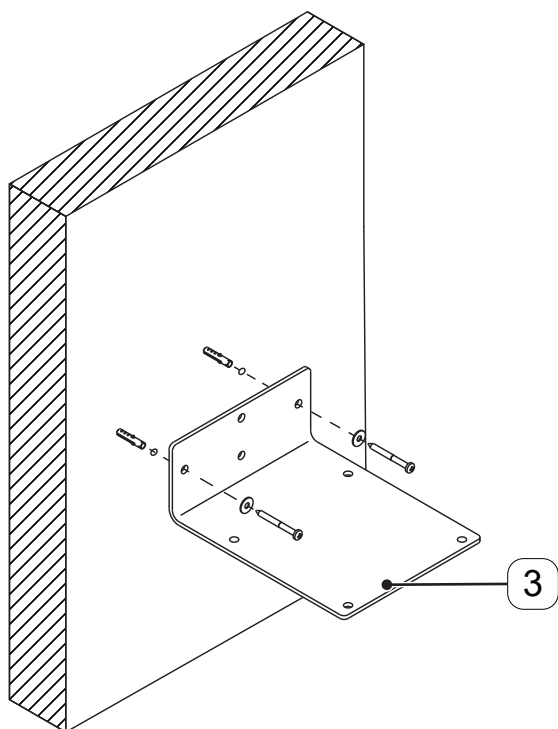
## 6.2.2 ÖWAMAT® 11

取り付け作業	
図	説明/解説
	<p><b>床への取り付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>ÖWAMAT®</b> を抽出点に対してオフセットさせて設置してください。</li> <li>2. 固定脚部の4つのスロット穴の位置 [1] を設置面にマーキングしてください。</li> <li>3. <b>ÖWAMAT®</b> をどけて、マーキング部位に穴をあけてください。</li> <li>4. <b>ÖWAMAT®</b> を穴の上に置き、位置を調整してください。 → 最大傾斜角 ±1°</li> <li>5. <b>ÖWAMAT®</b> を同梱の固定材料で設置面にねじ止めしてください。 → ねじを手で締め付けてください。</li> <li>6. ホースコネクタ [2] を <b>ÖWAMAT®</b> にねじり固定してください。</li> </ol>

## 取り付け作業

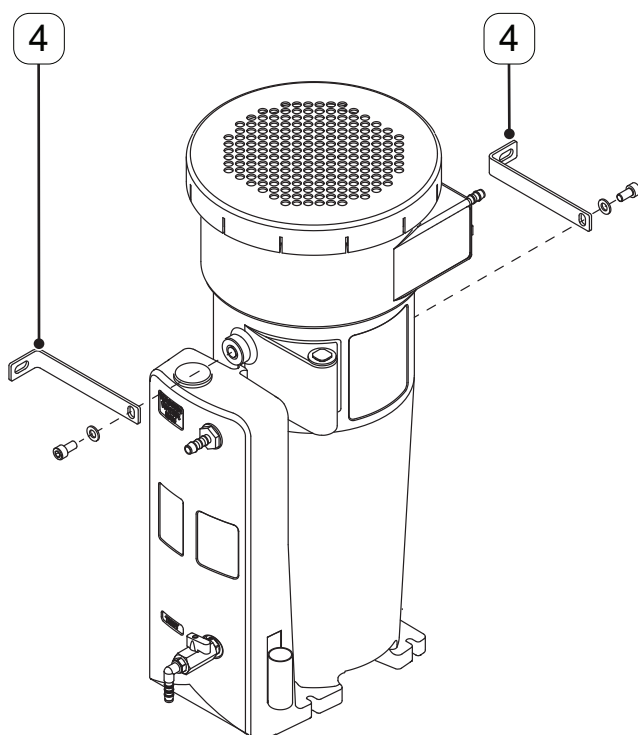
図

説明/解説



## 壁への取付け

1. ウォールブラケット [3] の穴を壁にマーキングし、ウォールブラケット [3] をどけてください。
2. マーキング部位に穴をあけ、ウォールブラケット [3] を同梱の固定材料で取り付けてください。
3. ウォールブラケット [3] の位置を調整し(±1°)、ねじで固く締めつけてください。

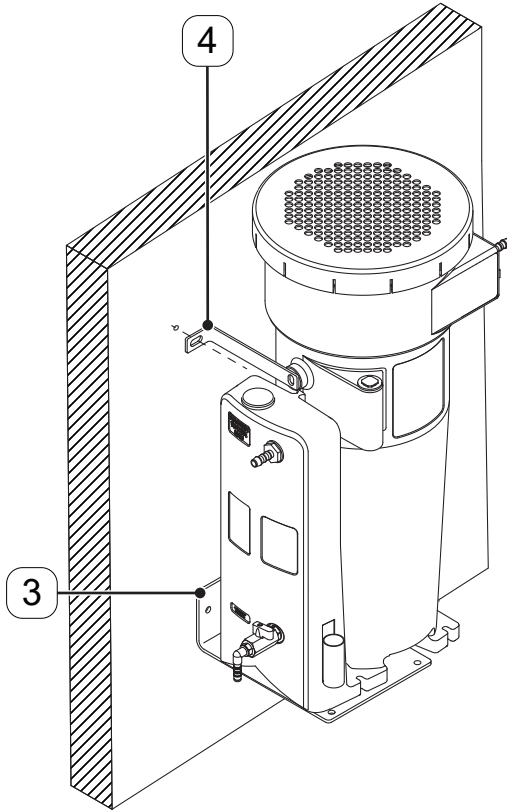


4. 側方の支持ブラケット [4] を ÖWAMAT® にねじり固定してください。

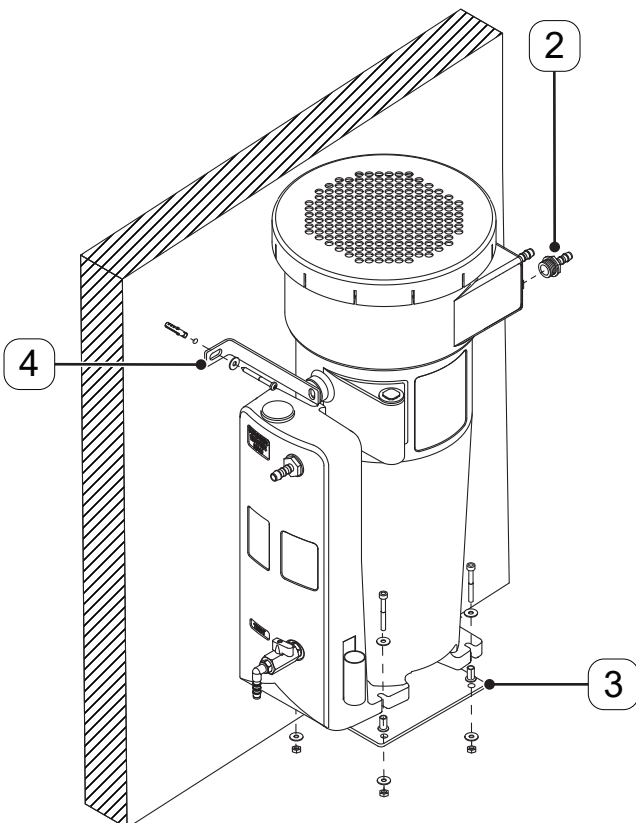
取り付け作業



説明/解説


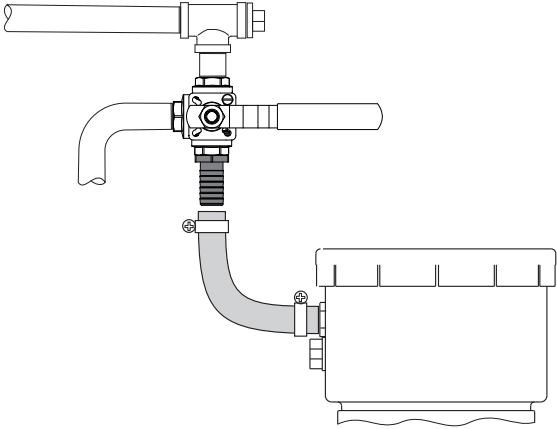
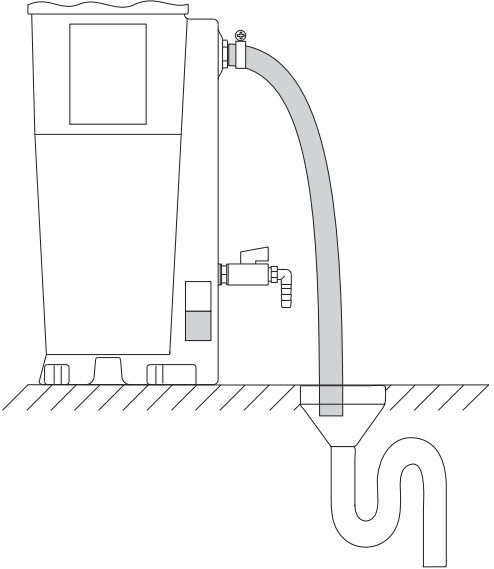


5. **ÖWAMAT®** をウォールブラケット [3] に配置してください。
6. 側方の支持ブラケット [4] の穴を壁にマーキングし、**ÖWAMAT®** をどけてください。
7. マーキング部位に穴をあけてください。



8. **ÖWAMAT®** をウォールブラケット [3] に配置してください。
9. **ÖWAMAT®** をウォールブラケット [3] にねじり固定してください。
10. 側方の支持ブラケット [4] を壁にねじり固定してください。
11. ホースコネクタ [2] を **ÖWAMAT®** にねじり固定してください。


### 6.2.3 ÖWAMAT®の接続

接続作業	
図	説明/解説
<p><b>注記</b></p> 	<p><b>誤ったホース配線による損傷!</b></p> <p>ホース配線を誤ると、物的損害や環境被害を出したり、運転中の障害を引き起こしたりするおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全てのホースをできるだけ短く配置してください。</li> <li>• 全てのホースを機械的張力のないように、また、ねじれがないように取り付けてください。</li> <li>• <b>ÖWAMAT®</b> に機械的張力が伝わらないように、また、各ホースの最小曲げ半径が遵守されるようにして全てのホースを配線してください。</li> <li>• ホースをたるんだ状態(袋状に下がった状態)で配置しないでください。</li> </ul>
	<p>12. 抽出点と圧力開放チャンバーのドレン入口とをホースで接続し、ホースが抜け落ちないようにホースクランプで固定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ホースをたるんだ状態(袋状に下がった状態)で配置しないでください。</li> <li>→ ホースクランプを手で締め付けてください。</li> </ul>
	<p>13. 排水ホースをドレン出口に固定し、ホースが抜け落ちないようにホースクランプで固定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ホースクランプを手で締め付けてください。</li> </ul> <p>14. 排水ホースを、廃水システムの接続部まで、一定の勾配を付けてねじれのないように通してください。</p> <p>15. 排水ホースを廃水システムの接続部のロートに緩く垂らしてください。</p>

仕上げ作業	
1.	加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。
2.	システムに圧力がかかり、ゆっくりと加圧されます。

## 7. 試運転

### 7.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。</li> <li>• システムに圧力がかかり、ゆっくりと加圧されます。</li> </ul>




### 7.2 試運転作業

#### 作業員

圧力機器・設備専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)

セットアップ作業を行うには以下の前提条件が満たされており、準備作業が完了している必要があります。

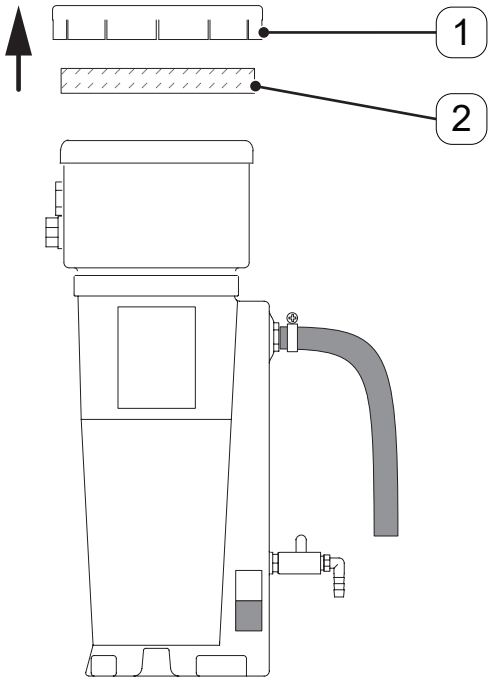
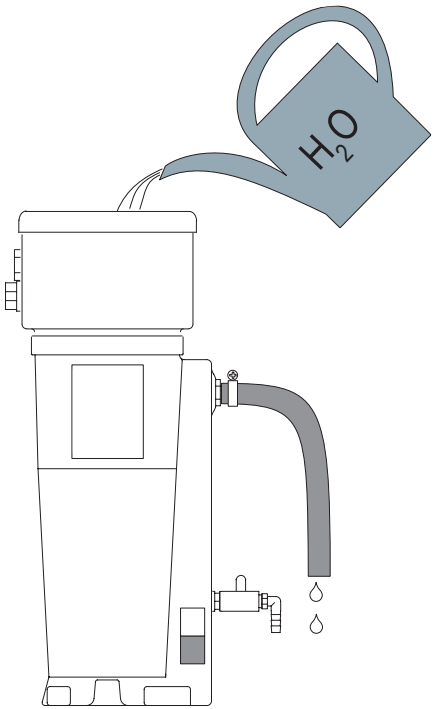
#### 前提条件

ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ツールは必要ありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 素材は必要ありません</li> </ul>	<p>常に着用：</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;">    </div>

#### 準備作業

1.	ÖWAMAT® の取り付けを完了します。
----	----------------------

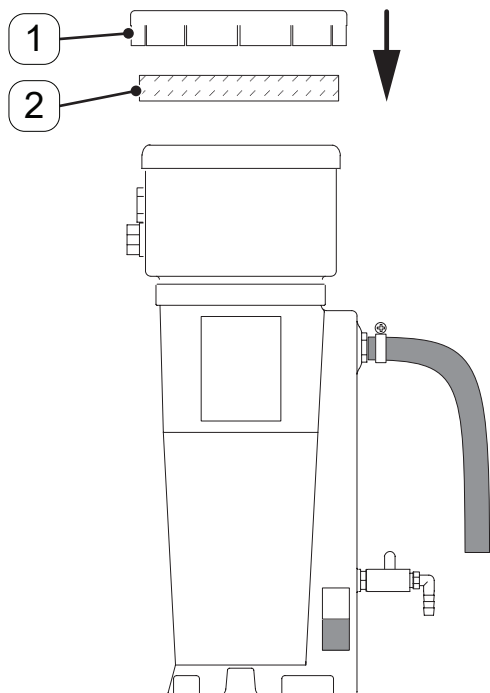
## 試運転作業

図	説明/解説
	<p>ÖWAMAT® に新鮮な水を充填してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カバー [1] を外し、</li> <li>2. フィルターマット [2] を圧力開放チャンバーから外してください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 圧力開放チャンバーを水道水で満たしてください。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ドレン出口から水が出てきたら、すぐに充填を中止してください。</li> </ul> </li> </ol>

試運転作業

図

説明/解説



4. フィルターマット [2] を圧力開放チャンバー [7] にはめ込んでください。
5. カバー [1] をかぶせてください。
6. ドレン供給管をゆっくりと開きます。
7. 全ての接続部に漏れがないか確認してください。

## 8. 運転

### 作業員

オペレータ(「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)

### 準備作業

1.	ÖWAMAT® を設置し、ドレンコレクタパイプおよび排水口に接続してください。
2.	ÖWAMAT® の試運転を完了します。

### 前提条件


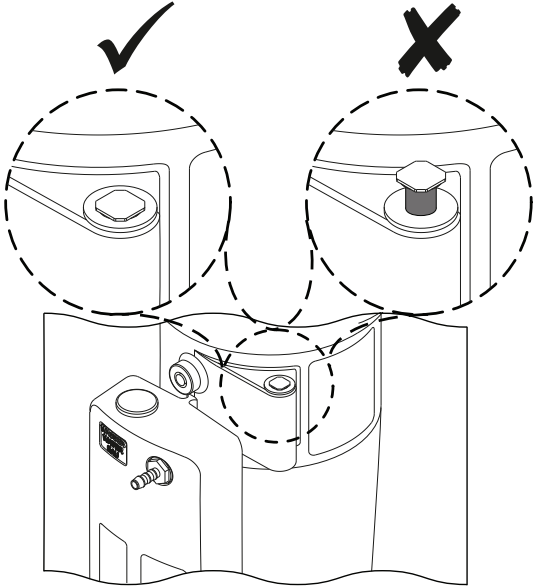



ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールは必要ありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材は必要ありません</li> </ul>	常に着用: 

図	説明
	<p><b>ÖWAMAT® 11</b> レベル標識を点検してください。</p> <p><b>レベル標識の赤いマーキングが見えていない場合:</b> → ÖWAMAT® は問題なく作動しています。</p> <p><b>レベル標識の赤いマーキングが見えている場合:</b> → 圧力開放チャンバーの最大充填量に達しました。 → ドレンの流れに障害が発生しています。</p>

## 9. 保守

### 9.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> </ul>
<b>注意</b>	<b>不適切なクリーニングおよび不適切なクリーニングメディアの使用!</b>
	<p>不適切な清掃を行ったり、間違った洗浄剤を使用したりすると、軽傷の危険が生じ、健康被害や物的損害の危険も生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>頑固な汚れや付着物を取り除くためには、温水のみを使用してください。</li> <li>外側のコーティング(例: 標識、銘板、腐食防止層など)を損傷するおそれのある、研磨剤の入った侵食性の洗浄剤または溶剤は使用しないでください。</li> <li>先のとがった物、または硬い物を清掃に使用しないでください。</li> <li>外部の清掃には、霧吹きで湿らせた静電気防止用布を使用してください。</li> <li>判読不可能になった製品の標識(絵文字、標識)は直ちに交換してください。</li> </ul>
<b>注記</b>	<b>現地の衛生規則に注意!</b>
	<p>記載されている清掃に関する注意事項に加えて、必要に応じて、その地域で適用される衛生規則または会社独自の衛生規則を遵守する必要があります。</p>

### 9.2 保守スケジュール

保守	間隔
廃水の濁度点検および結果の文書化	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週</li> </ul>
フィルター交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁度点検で好ましくない結果が出た場合は、必要不可欠です</li> <li>レベル標識の赤いマーキングが見えている場合</li> <li>少なくとも1年に1回</li> </ul>
ÖWAMAT®の徹底清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>年一回</li> <li>毎フィルター交換時</li> </ul>
目視検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週</li> </ul>
リークテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>推奨: 製品のすべての取り付け作業またはメンテナンス作業を終えた後</li> </ul>

### 9.3 メンテナンス作業

#### 作業員

サービス専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)

メンテナンス作業を行うには各前提条件が満たされており、各準備作業が完了している必要があります。

#### 9.3.1 浄化済みドレンの濁度点検

#### 前提条件


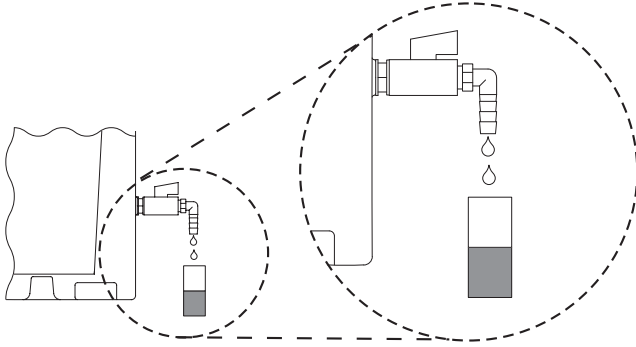
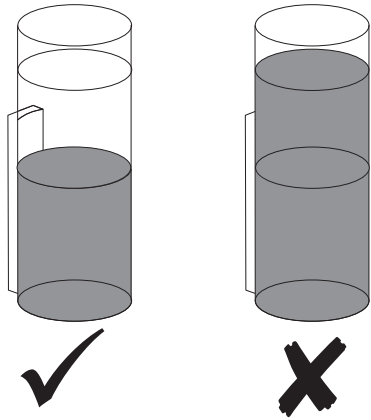
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールは必要ありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材は必要ありません</li> </ul>	常に着用: 

図	説明
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基準濁度チューブをホルダーから取り外し、サービス弁 から試料水を充填します。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 試料を基準濁度チューブの下半分の基準濁度と比較してください。                      試料が基準濁度よりも澄んでいる:                      → ÖWAMAT® は問題なく作動しています。                      試料の濁度が基準濁度と同等かそれ以上である                      → フィルター交換を検討してください。</li> <li>3. 濁度点検の結果を文書化してください。</li> </ol>

### 9.3.2 フィルター交換および清掃

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールは必要ありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OEKOSORB® フィルターエレメントセット</li> </ul>	常に着用: 

準備作業	
1.	新しい OEKOSORB® フィルターエレメントセット [6] を用意してください。

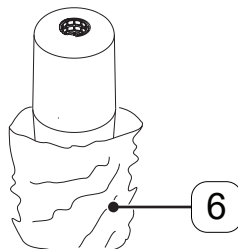
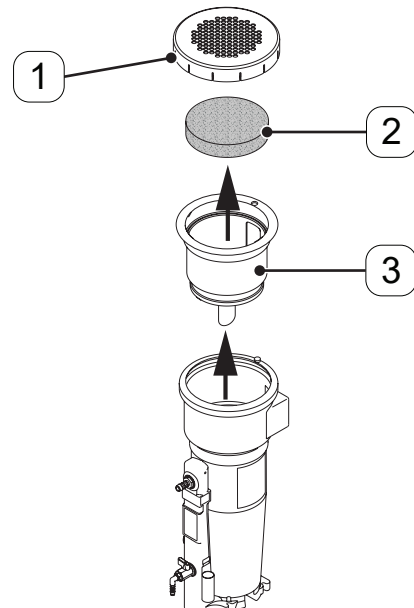
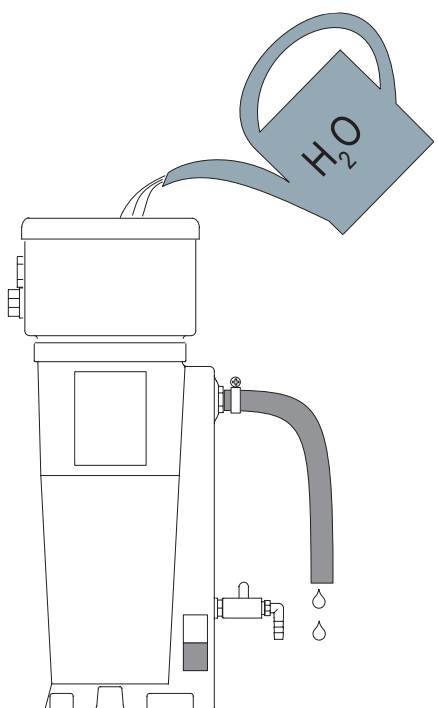
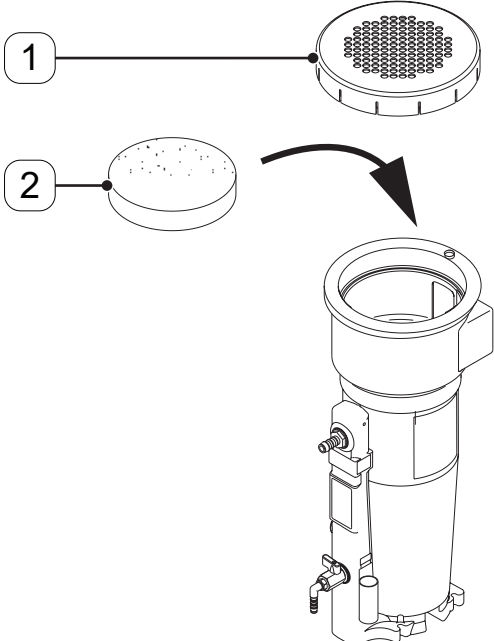
図	説明
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒーターが組み込まれている場合は、ヒーターを電源から外してください。</li> <li>2. ÖWAMAT® へのドレン供給管を遮断して、ドレンを別個の容器に流し込んでください。</li> <li>3. 新しい OEKOSORB® フィルターエレメントセット [6] を用意してください。 → 使用済み OEKOSORB® フィルターエレメントを廃棄する際は、セット内のポリエチレン袋を利用してください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. カバー [1] を開けてください。</li> <li>5. フィルターマット [2] を外してください。</li> <li>6. インレットパイプ付き圧力開放チャンバー [3] を外してください。</li> </ol>

図	説明
	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 使用済み <b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント [6] をゆっくりと容器 [10] から引き抜き、水気を切ってください。</li> <li>8. 水気を切った <b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント [6] をフィルターマット [2] と一緒にポリエチレン袋に入れ、適切に廃棄してください（「13. 廃棄処分」58ページの章を参照）。</li> <li>9. 容器 [10] を汲み出して空にしてください。 → 液体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って回収し、処理してください。</li> <li>10. 容器 [10] を洗浄してください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>11. 新しい <b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント [6] を用意し、容器 [10] のフィルター取り付け部にはめ込んでください。</li> <li>12. インレットパイプ付き圧力開放チャンバー [3] をはめ込んでください。</li> </ol>

図	説明
	<p>13. 圧力開放チャンバーを水道水で満たしてください。</p> <p>→ ドレン出口から水が出てきたら、すぐに充填を中止してください。</p>
	<p>14. フィルターマット [2] を圧力開放チャンバーにはめ込んでください。</p> <p>15. カバー [1] をかぶせてください。</p> <p>16. ドレン供給管をゆっくりと開きます。</p> <p>17. 全ての接続部に漏れがないか確認してください。</p> <p>18. ヒーターが組み込まれている場合は、ヒーターを電源に接続してください。</p>

### 9.3.3 目視検査

目視検査では、すべてのコンポーネントに機械的な損傷や漏れの可能性がないかどうかを点検してください。損傷したコンポーネントは直ちに交換してください。

### 9.3.4 リークテスト

リークテストは、**ÖWAMAT®** が完全に水で満杯になっているときにのみ可能です。

1. 圧力開放チャンバーを水道水で満たしてください。  
→ ドレン出口から水が出てきたら、すぐに充填を中止してください。
2. 全てのホース接続およびその他の接続を、漏れがないか点検してください。

エラー状況	措置
ホース接続に漏れがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホースクランプを締め直します。</li> <li>硬化しているホースおよび関わっているホースクランプを交換します。</li> </ul>

### 9.3.5 仕上げ作業

仕上げ作業	
1.	加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。
2.	システムに圧力がかかり、ゆっくりと加圧されます。

## 10. 消耗品、アクセサリおよび交換部品

### 10.1 注文情報

BEKO TECHNOLOGIES サービスへのお問い合わせまたはご注文には以下の情報が必要です:

- 製品名およびサイズ (銘板を参照)
- シリアル番号 (銘板を参照)
- アクセサリの材料番号および名称
- 納入希望アクセサリの必要数

担当の BEKO TECHNOLOGIES サービスの連絡先は「1.1 ご連絡先」4ページの章に記載されています。

### 10.2 消耗部品

名称	材料番号	
	ÖWAMAT® 10	ÖWAMAT® 11
OEKOSORB® フィルターエレメントセット		
• フィルターエレメント	4010719	4011999
• フィルターマット		
シールセット	4013857	4013858

### 10.3 アクセサリ

名称	材料番号	
	ÖWAMAT® 10	ÖWAMAT® 11
ウォールブラケット	4004277	4012186
ヒーター	-	4001748
レベル標識	-	4011575
レベル標識用アラームセンサー		4012448

## 10.4 交換部品


名称	材料番号	
	ÖWAMAT® 10	ÖWAMAT® 11
容器	4012557	4012559
インレットパイプ付き圧力開放チャンバー	4012561	4012562
カバー付きフィルターマット	4004290	2800909
カバー	ご請求ください	2000228
基準濁度チューブ 20 mg/l	2000556	
基準濁度チューブ 10 mg/l	4001475	
基準濁度チューブ 5 mg/l	4010073	
サービス弁	2800891	

## 11. 運転停止措置

ÖWAMAT® は、例えば、以下のように長期間使用しない場合、使用停止措置をとる必要があります:

- 製品またはアクセサリの修理
- 計画された作業 (例: 改修工事、大規模な修理、システム全体のシャットダウン) のために、システム全体を長期間シャットダウンする場合

### 11.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> </ul>

### 11.2 運転停止措置のための作業

作業員
サービス専門スタッフ (「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)




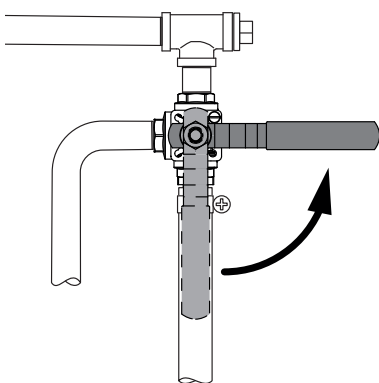

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ツールは必要ありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 素材は必要ありません</li> </ul>	<p>常に着用:</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ÖWAMAT® へのドレン供給管を遮断して、流入するドレンを 別個の容器に流し込んでください。</li> </ol>

## 12. 取り外し




### 12.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> </ul>

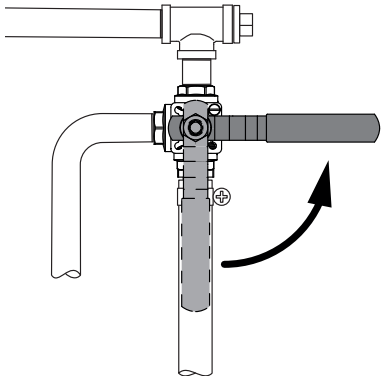
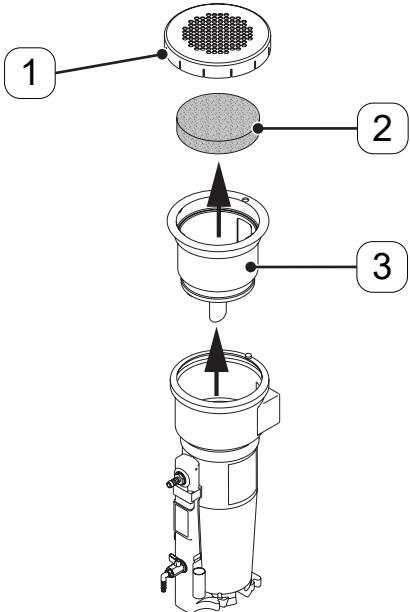
### 12.2 取り外し作業

作業員	
サービス専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」8ページの章を参照)	

準備作業	
1.	ÖWAMAT®の運転停止措置が完了しています。

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>モンキーレンチ</li> <li>ウォーターポンププライヤー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済み <b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント廃棄用梱包材</li> </ul>	<p>常に着用:</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>

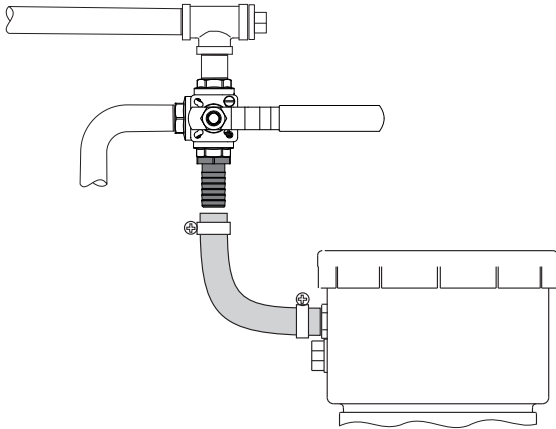
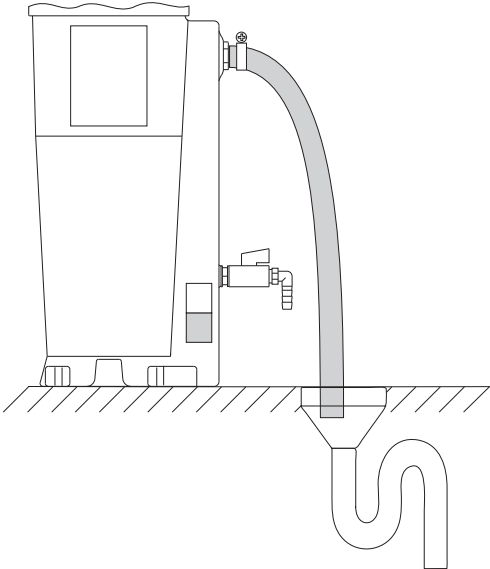
### 12.2.1 OEKOSORB® フィルターエレメントの取り外し

取り外し作業	
図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>ÖWAMAT®</b> へのドレン供給管を遮断して、流入するドレンを別個の容器に流し込んでください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. カバー [1] を開けてください。</li> <li>3. フィルターマット [2] を外してください。</li> <li>4. インレットパイプ付き圧力開放チャンバー [3] を外してください。</li> </ol>

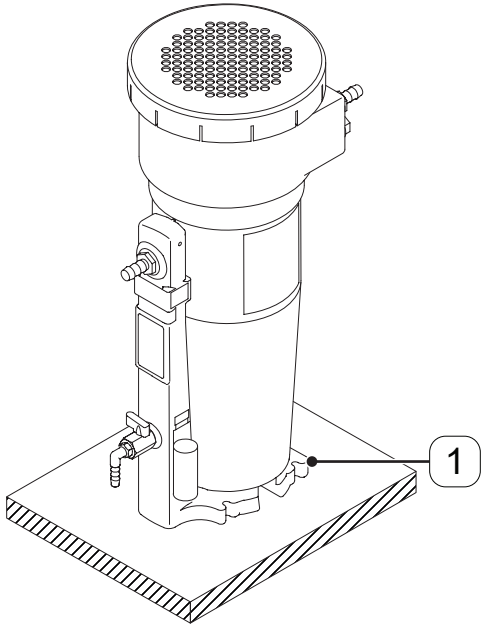
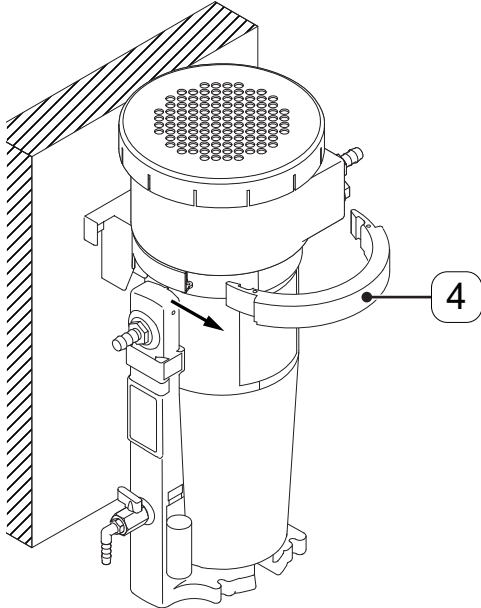
### 取り外し作業

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. 使用済み <b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント [6] をゆっくりと容器 [10] から引き抜き、水気を切ってください。</li> <li>6. 水気を切った <b>OEKOSORB®</b> フィルターエレメント [6] をフィルターマット [2] と一緒にポリエチレン袋に入れ、適切に廃棄してください(「13. 廃棄処分」58ページの章を参照)。</li> <li>7. 容器 [10] を汲み出して空にしてください。 → 液体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って回収し、処理してください。</li> <li>8. 容器 [10] を洗浄してください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. インレットパイプ付き圧力開放チャンバー [3] をはめ込んでください。</li> <li>10. カバー [1] をつけてください。</li> </ol>

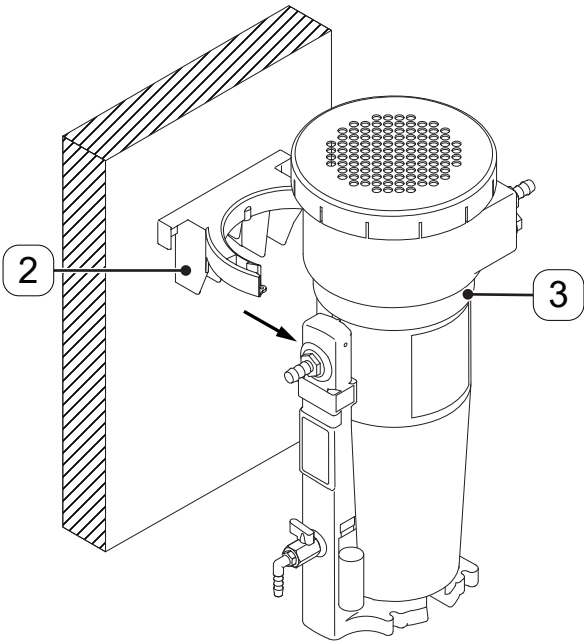
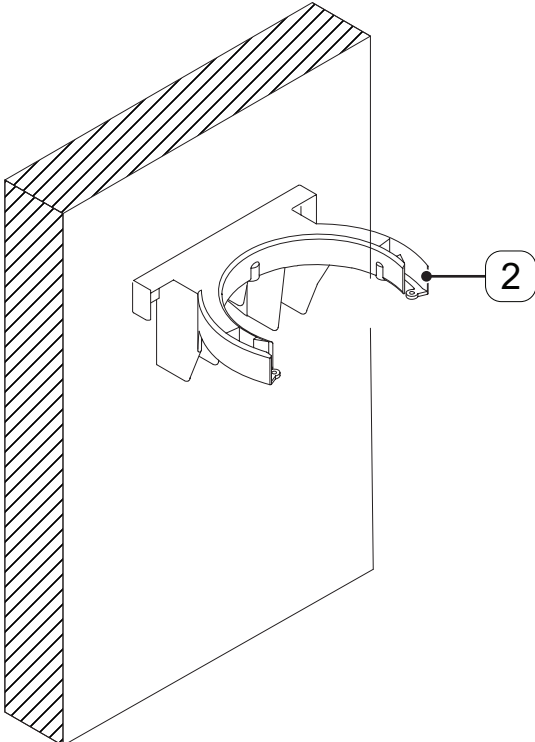
## 12.2.2 ÖWAMAT® 接続の取り外し

取り付け作業	
図	説明/解説
	<p>11. 抽出点および圧力開放チャンバーのドレン入口のホースクランプを緩めてください。</p> <p>12. ホースを圧力開放チャンバーから外し、抽出点から取り外してください。</p>
	<p>13. ドレン入口のホースクランプを緩め、排水ホースを取り外してください。</p>

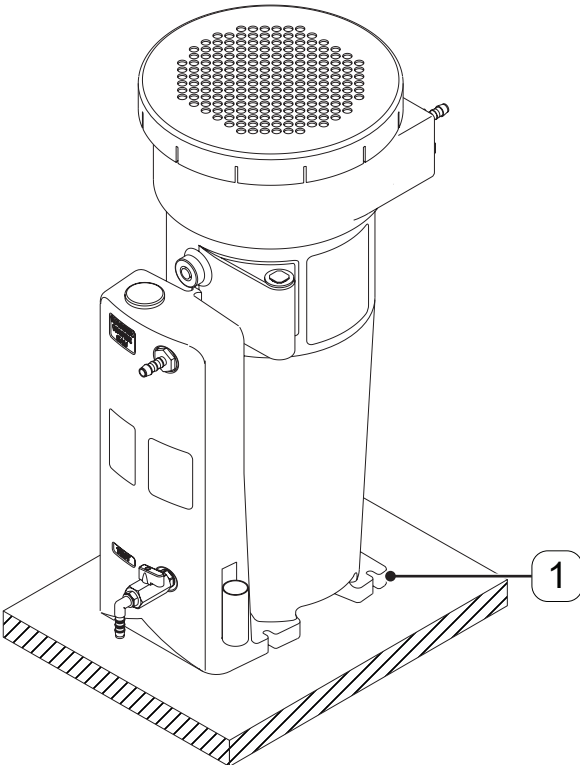
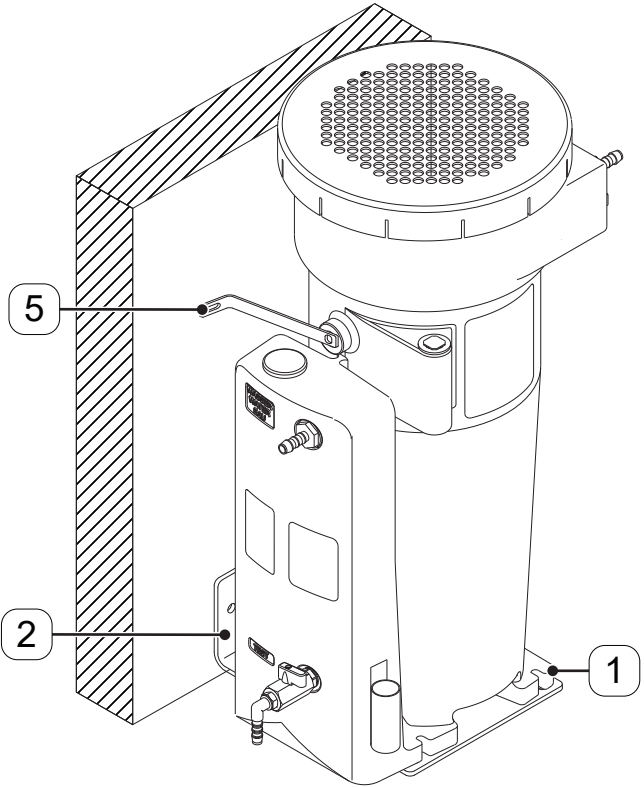
## 12.2.3 ÖWAMAT® 10 の取り外し

取り外し作業	
図	説明/解説
	<p><b>床への取り付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定脚部 [1] のねじを緩め外してください。</li> <li>2. 取り外した ÖWAMAT® を適切に廃棄してください(「13. 廃棄処分」58ページの章を参照)。</li> </ol>
	<p><b>壁への取付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 留め金 [4] を外してください。</li> </ol>

## 取り外し作業

図	説明/解説
	<p>2. <b>ÖWAMAT®</b> をウォールブラケット [2] から外してください。</p>
	<p>3. ウォールブラケット [2] のねじを緩め外してください。</p> <p>4. ウォールブラケット [2] を取り外してください。</p> <p>5. 取り外した <b>ÖWAMAT®</b> とウォールブラケット [2] を適切に廃棄してください(「13. 廃棄処分」58ページの章を参照)。</p>

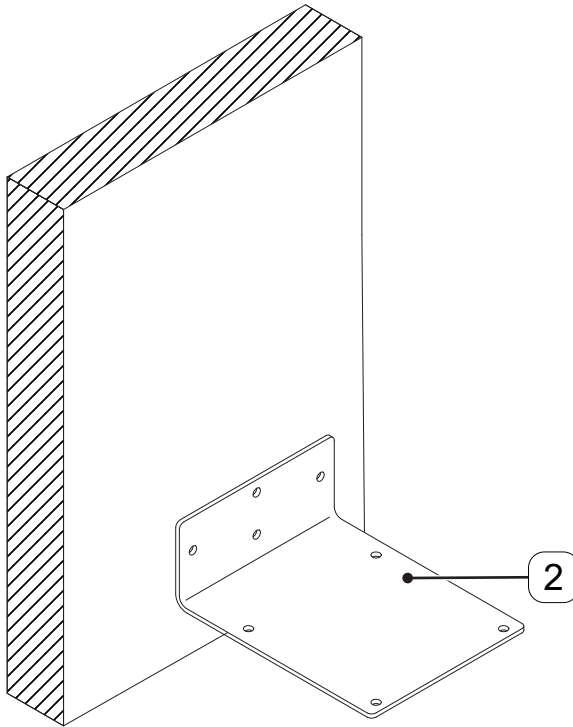
## 12.2.4 ÖWAMAT® 11 の取り外し

取り外し作業	
図	説明/解説
	<p><b>床への取り付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定脚部 [1] のねじを緩め外してください。</li> <li>2. 取り外した ÖWAMAT® を適切に廃棄してください(「13. 廃棄処分」58ページの章を参照)。</li> </ol>
	<p><b>壁への取付け</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 壁に取り付けた側方の支持ブラケット [5] のねじを緩め外してください。</li> <li>2. ÖWAMAT® に取り付けられた側方の支持ブラケット [5] のねじを緩め外してください。</li> <li>3. 固定脚部 [1] のねじを緩め外してください。</li> <li>4. ÖWAMAT® をウォールブラケット [2] から取り外してください。</li> </ol>

取り外し作業

図

説明/解説




5. ウォールブラケット [2] のねじを外してください。
6. ウォールブラケット [2] を取り外してください。
7. 取り外したコンポーネントを適切に廃棄してください(13.廃棄処分の章を参照)。

## 13. 廃棄処分

製品とアクセサリは、耐用年数が経過した時点で、例えば専門業者に依頼するなどして適切に廃棄する必要があります。例えば、ガラス、プラスチックや一部の化学製品は、大部分が修復可能、リサイクル可能であり再使用することができるものです。

### 13.1 警告マーク

注記	不適切な廃棄処分!
	<p>部品、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄剤を不適切な仕方で廃棄処分すると、環境汚染の原因になるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての部材、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄媒体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って適切に廃棄してください。</li> <li>• 電気部品および電子部品は、専門の廃棄処理業者に任せて廃棄するか、または BEKO TECHNOLOGIES に返送してください。</li> <li>• 廃棄に関して疑問がある場合は、その地域の専門の廃棄処理業者にご相談ください。</li> </ul>

### 13.2 運転資材および補助資材の廃棄処分

運転資材/補助資材	EU廃棄物コード
オイルまたはその他の危険物質により汚染された吸着材、フィルター材、拭き取り布および保護服	15 02 02
梱包材 - 紙および段ボール	15 01 01
梱包材 - プラスチック	15 01 02
廃油 - 無機	13 02 05
廃油 - 合成	13 02 06

### 13.3 コンポーネントの廃棄処分

廃棄処分の前に、以下の前提条件が満たされていること:

前提条件	
1.	製品とアクセサリは 運転停止され、取り外されている。
2.	製品とアクセサリは 清掃が済み、残留媒体がない状態になっている。

コンポーネント	EU廃棄物コード
プラスチック	20 01 39
金属	20 01 40



**BEKO TECHNOLOGIES GmbH**

Im Taubental 7  
D - 41468 Neuss  
Tel. +49 2131 988 0  
Fax +49 2131 988 900  
info@beko-technologies.com  
service-eu@beko-technologies.com

**DE****BEKO TECHNOLOGIES LTD.**

Unit 11-12 Moons Park  
Burnt Meadow Road  
North Moons Moat  
Redditch, Worcs, B98 9PA  
Tel. +44 1527 575 778  
info@beko-technologies.co.uk

**GB****BEKO TECHNOLOGIES S.à.r.l.**

Zone Industrielle  
1 Rue des Frères Rémy  
F - 57200 Sarreguemines  
Tél. +33 387 283 800  
info@beko-technologies.fr  
service@beko-technologies.fr

**FR****BEKO TECHNOLOGIES B.V.**

Veenen 12  
NL - 4703 RB Roosendaal  
Tel. +31 165 320 300  
benelux@beko-technologies.com  
service-bnl@beko-technologies.com

**NL****BEKO TECHNOLOGIES  
(Shanghai) Co. Ltd.**

Rm.715 Building C, VANTONE Center  
No.333 Suhong Rd.Minhang District  
201106 Shanghai  
Tel. +86 (21) 50815885  
info.cn@beko-technologies.cn  
service1@beko.cn

**CN****BEKO TECHNOLOGIES s.r.o.**

Na Pankraci 58  
CZ - 140 00 Praha 4  
Tel. +420 24 14 14 717 /  
+420 24 14 09 333  
info@beko-technologies.cz

**CZ****BEKO Tecnológica España S.L.**

Torruella i Urpina 37-42, nave 6  
E - 08758 Cervelló  
Tel. +34 93 632 76 68  
Mobil +34 610 780 639  
info.es@beko-technologies.es

**ES****BEKO TECHNOLOGIES LIMITED**

Room 2608B, Skyline Tower,  
No. 39 Wang Kwong Road  
Kwloon Bay Kwloon, Hong Kong  
Tel. +852 2321 0192  
Raymond.Low@beko-technologies.com

**HK****BEKO TECHNOLOGIES INDIA Pvt. Ltd.**

Plot No.43/1 CIEEP Gandhi Nagar  
Balanagar Hyderabad  
IN - 500 037  
Tel. +91 40 23080275 /  
+91 40 23081107  
Madhusudan.Masur@bekoindia.com  
service@bekoindia.com

**IN****BEKO TECHNOLOGIES S.r.l**

Via Peano 86/88  
I - 10040 Leinì (TO)  
Tel. +39 011 4500 576  
Fax +39 0114 500 578  
info.it@beko-technologies.com  
service.it@beko-technologies.com

**IT****BEKO TECHNOLOGIES K.K**

KEIHIN THINK Building 8 Floor  
1-1 Minamiwatarida-machi  
Kawasaki-ku, Kawasaki-shi  
JP - 210-0855  
Tel. +81 44 328 76 01  
info@beko-technologies.jp

**JP****BEKO TECHNOLOGIES Sp. z o.o.**

ul. Pańska 73  
PL - 00-834 Warszawa  
Tel. +48 22 314 75 40  
info.pl@beko-technologies.pl

**PL****BEKO TECHNOLOGIES S. de R.L. de C.**

BEKO Technologies, S de R.L. de C.V.  
Blvd. Vito Alessio Robles 4602 Bodega 10  
Zona Industrial  
Saltillo, Coahuila, 25107  
Mexico  
Tel. +52(844) 218-1979  
informacion@beko-technologies.com

**MX****BEKO TECHNOLOGIES, CORP.**

900 Great Southwest Pkwy SW  
Atlanta, GA 30336  
USA  
Tel. +1 404 924-6900  
beko@bekousa.com

**US**